

大倉山ミエルは神奈川県との協働事業で『孤の解消』のために

「活動団体がつながる^{2022年度}ことによる コミュニティ活性化」

つながる が ミニ

この事業（ボランティア基金21事業）では

- ① 大倉山ミエルや大倉山地域での協働事業等の活性化と、その見える化・モデル化
- ② それらを基にした県域への展開
- ③ コミュニティ活性化のための人材育成のためのOJT的研修・つながりづくりを行っています。その中間報告として『つながるミニブックレット』を発行します。

ブックレット

・報告書 2023/3/31

アフターコロナのコミュニティづくり・2022
大倉山ミエル 商店会の「はちみつ」のアンテナショップから始まる。3回の
移転、現在4カ所目で、様々な活動団体とつながって活動中
小さな、自由な居場所を目指して活動中！ ミエルALL、ミエル企画部というLINEグループが主体的に
企画・運営に参加して様々な活動が生れています。又、13年前の開設当初から『活動をつなぐ活動』
を継続して、地域の様々な活動団体などともつながって、様々な活動を進めています。



この事業は神奈川県ボランティア活動推進基金21の協働事業により行っています。



つながるミニブックレット 2022年度
2023年3月31日 初版第一刷発行
著者：鈴木智香子 鈴木健夫
発行者：NPO法人街カフェ大倉山ミエル

発行所：NPO法人街カフェ大倉山ミエル
〒222-0037 神奈川県横浜市港北区大倉山4-36-26
☎：045-717-6778
Mail：miel@rf6.so-net.ne.jp



目次

1. 事業概要

- ① 目的
- ② 概要
- ③ スケジュール

2. 事業1：大倉山ミエルや大倉山地域での協働事業等の活性化と見える化・モデル化

- ① 大倉山地域での地域協働活動の活性化
 - ① 大倉山地域での活動の活性化
 - 1 菊名みんなの広場、2 大倉山はちみつ保存会、3 ミエル企画部、4 子ども若者支援団体連絡会、5 自治会の活性化等
 - ② 活動をつなぐ活動
 - ・大倉山地域（大倉山・菊名・大曾根・師岡）今年度の重点活動
 - ・これまでの実績（大倉山地域のつながりMAP2022）
- ② 展開のための見える化
 - ① ミエルの特徴1, 2
 - ② ミエルのパンフ作成「ミエルの木2021」
 - ③ ミエルのカレンダー
 - ④ ミエルのこれまで：活動・ひと・団体・協働活動・補助金
 - ⑤ ミエル企画部の「楽しい活動+少しのボランティア」
 - ⑥ ミエルの「3度の移転」
 - ⑦ ミエル企画部・ミエルALL
 - ⑧ プロボノメンバー座談会
 - ⑨ ミエルの協働活動
- ③ 居場所の作り方マニュアル（お試し-2022）
- ④ つながるミニフォーラム2021+2022
 - ① 概要・タイムテーブル
 - ② 「つながるミニフォーラム」2021年度
 - ③ 「つながるミニフォーラム」2022での考察と気づき
 - ④ ディスカッション 2022
- ⑤ フォーラム・モデレーター（杉崎先生）のコメント「大倉山ミエルの活動への関心」

3. 事業2：県域への展開

- ① 県域への展開
 - ① 概要
 - ・支援地域の検討：茅ヶ崎、新川崎、三浦の検討
 - ・過去の活動事例の例
 - ② 茅ヶ崎「さろんどて」への展開 2021+2022
 - ③ 大磯国府本郷への展開
- ② その他の地域への展開
 - ・座間生活クラブ・綾瀬市の居場所支援等
- ③ 県域展開での考察と気づき

4. 事業3：コミュニティ活性化のための人材育成・OJT的研修・つながりづくり

- ① 普及のためのブレ研修 2021+2022
 - ① 目的
 - ② 研修のポイント
 - ③ ブレ研修の概要とスケジュール
 - ④ ブレ研修での考察と気づき 2021+2022
- ② 今後の研修について

5. HP作成

- ① HP作成の目的とポイント
 - ① 目的
 - ② HPのポイント

1. 事業概要 こんなことをしています。

① 目的

：地域における市民活動団体は多数存在するが、各々が個別の課題の中で活動を終始しがちであり、地域課題の共有化が進まない状況にある。本事業は、個々に地域で活動している団体をつなぎ、複数の活動団体が共に連携して事業を行うことで地域コミュニティが活性化し、地域で暮らす人がさまざまな地域活動をより身近に感じられるようになり、より多くの人が「コミュニティ」に参加することで、県民の「孤」の解消を図り、未病改善等に必要要素である「社会参加」を促していく。

② 概要

① 大倉山地域での地域協働活動の推進展開のための見える化

：大倉山モデル地域において、これまでの地域活動の新たな展開として、各々の活動団体の地域活動をつないで、地域協働活動を起こし、その効果と課題を見える化、モデル化し広く県域に展開する。

② 県域への展開

：域モデル地域内で当該地域に対して地域協働活動のコーディネートと活動の見える化を支援する。

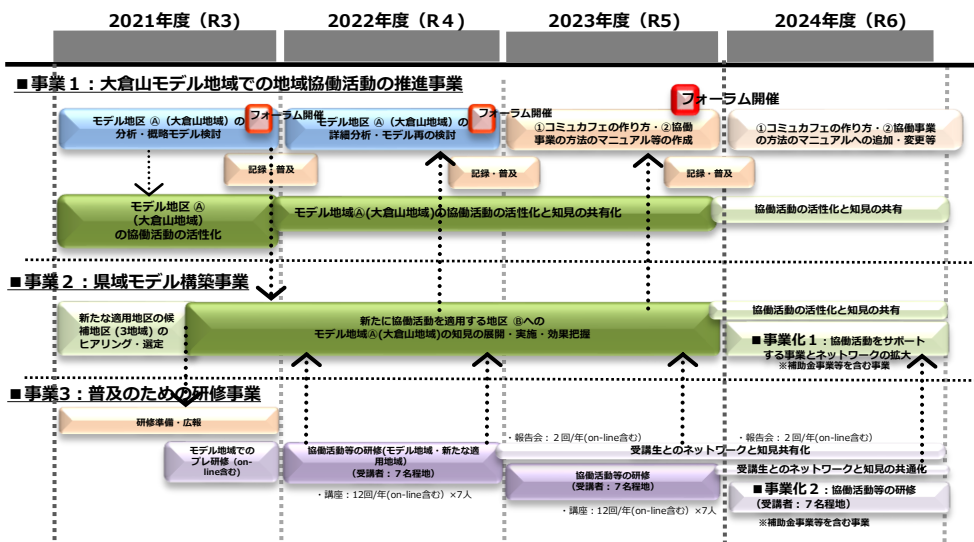
③ 普及のための研修

：地域協働活動を主軸とするサポーター研修を定期的実施し、地域で活躍できる人材を養成し、それぞれの地域に持ち帰り、その地域に存在する市民活動団体同士をつなぐことによって、コミュニティ活動を活性化させる。

活動団体がつながることによる地域協働の活性化事業

③ スケジュール

※地域協働活動：地域での複数団体等が共に事業を行う活動。



大倉山三工社、2021.04.17

課題：地域活動に連携活動が少なく、地域の課題、解決策の共有活動が進まない。



目的：アウトリーチを重視した地域協働を広げていくことで、地域のコミュニティ活動の活性化と人材育成と普及を図る。

2. 事業1：大倉山ミエルや大倉山地域での協働事業等の活性化とその見える化・モデル化

① 大倉山地域での地域協働活動の活性化

① 大倉山地域での活動の活性化

1 菊名みんなの広場 →「菊名あったか」の支援に変更 2022年度に変更

菊名の空き家取得から支援、近隣の活動団体（お出掛バス等）と共同運営を目指す。ヨコハマ市民まち普請採択、地域包括支援を目指す。2022年に分かれた「菊名あったか」の支援に切り替えている。

2 大倉山はちみつ保存会

菊名で20年養蜂を行ってきた菅野氏から、2021年末の養蜂を引継ぐPJ、師岡の耕作放棄地を開墾して、エシカル畑として活動中の「熊野の森もろおかスタイル」と共同で進めている。養蜂事業も2023年度で3年目に入っている。

3 ミエル企画部

自然発生的に生まれたLINEグループ「ミエルレ一部」（現ミエルALL230名）が生まれ、現在のミエルを自立的に支える「ミエル企画部」（LINEグループ現在27名）も生まれてきた。この事業では、そのコミュニティのあり方の整理と活性化を行いながら、その経緯を見る化をはかっている。

4 子ども若者支援団体交流会

港北地域で障害者や弱者支援を考える会の立上げた「街を耕す会港北」に参加、障害者の舞台「ぶかぶかさん」の上映会・シンポジウムを開催。定例会を継続中。その活動を母体に武藤氏と区社協とミエル等が発起人になり、「港北区子ども若者支援団体交流会」を呼びかけ、交流会を開催中、引き続き活動を継続中。

5 町内会への展開

横浜市生活支援補助事業サービスBを利用して、自治会館等を利用して自治会が運営してゆくことを目指し、まず、大倉山地区での白樺会館で「シニアのおしゃべり会」の企画を会長に打診中だが、別町内会にも打診予定している。

② 活動をつなぐ活動（協働）

■ 大倉山地区（大倉山・菊名・大曾根・師岡） 2021年度の重点活動（つながりMAP（活動拠点等））

● ミエルの大倉山地域のアウトリーチ活動



- 1 ハッピーマザーミュージック ●
HMMの鈴木美子氏はミエルの活動以前から、ミエルの共同創設者、ミニコンサート等の開催、現、ミエルの理事
- 2 公園遊びの会「おるとん」立上げ 世話人 ●
フォーラムアソシエの活動として2005年に新横浜第1公園で幼児乳児対象の公園遊びの会立上。
- 3 NPO法人フォーラム・アソシエ 立上げ ●
「がんばるママのご褒美講座」等を企画運営、現、副理事長、運営、ヨコハマ市民まち普請事業を採択
- 4 NPO法人鶴見川流域ネットワーク ●
毎年、お出かけ水旅館の開催をはじめ、色々な活動を共催している。
- 5 大倉山おへて 立上げ ●
大倉山商店会と連携して空店舗を生かした商店街の中の居場所を整備・運営、ヨコハマ市民まち普請事業を採択
- 6 熊野の森もろおかスタイル 支援・会員 ●
3.11後、自然エネルギーで暮らす社会を目指し、活動を展開する団体、ヨコハマ市民まち普請事業採択（空地を生かした市民農園の整備）
- 7 Flat（熊野の森もろおかスタイルのメンバー中心）立上支援 ●
空き家活用で高齢者の居場所を整備をアドバイス
- 8 菊名みんなの広場 立上げ支援 → 菊名あったか ●
菊名の空き家取得から支援、近隣の活動団体（お出掛バス等）と共同運営を目指す。ヨコハマ市民まち普請採択、地域包括支援を目指す。
- 9 大曾根「空家」 ●
住宅1階の空きスペースを利用して地域に開かれたシェアスペースを検討中、「エリアアースセンター」勉強会等を共催
- 10 大倉山「ブランド」による商店会活性化（2020-） 支援中 ●
地域WEBサイト「てくてくてく」の立上げや大曾根商店会の活性化を提案中、県の経済振興課に繋ぐ、等
- 11 大倉山はちみつ保存会 立上げ 世話人 ●
菊名で20年養蜂を行ってきた菅野氏から、2021年末の養蜂を引継ぐPJ、師岡の耕作放棄地を開墾して活動中の「熊野の森もろおかスタイル」と共同
- 12 掲町（NPO法人掲町・ニッポン・産前産後カフェ） ●
代表の穂田さんと産前産後ママさんのサイトを緊急対応も含め「ここみて港北」Webサイト公開（共同事業）
- 13 菊名 らんがく舎 ●
宇田川氏は港北区災害番ボランティア連絡会の代表で、ミエルでの「地域食卓」メンバーでもあり、今回の熊木水産の緊急支援に協力。
- 14 「街を耕す会港北」立上げ → 子ども若者支援団体交流会 ●
港北地域で障害者や弱者支援を考える会の立上げに参加、障害者の舞台「ぶかぶかさん」の上映会、シンポジウムを開催、定例会を継続中。
- 15 自治会館の活用検討（白樺会館等） ●
横浜市生活支援補助事業サービスBを利用して、自治会館を利用して自治会が運営してゆくことを目指し、大倉山地区で、まず白樺会館で「シニアのおしゃべり会」の企画を会長に打診中。
- 16 ミエル企画部の経緯 ●
現在のミエルを自立的に支える「ミエル企画部」（LINEグループ現在30名）も生まれてきた。今年度はそのコミュニティのあり方の整理と活性化を行いながら、その経緯を見る化をはかる。

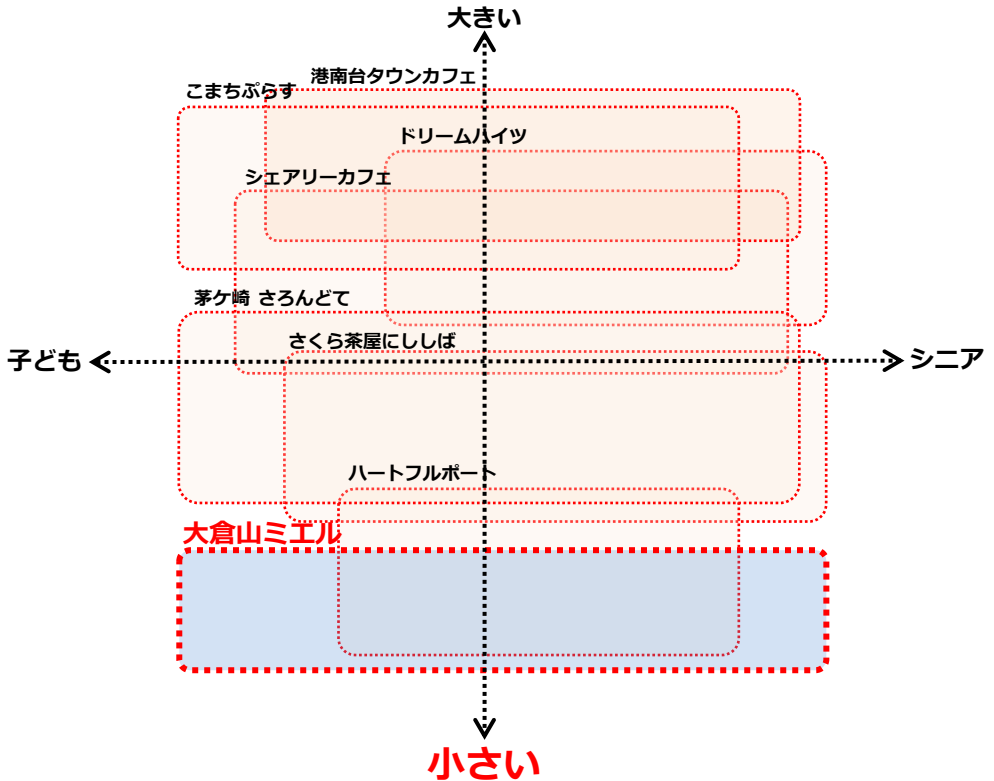
② 展開のための見える化

①-1 ミエルの特徴1 :

- ① **小さい** : 少人数でできる。動きが速い、ボランティアでやり易い、始めやすく、やめやすい
- ② **多世代** : 全生活、多世代 -1歳~101歳、ケア~ビジネス、環境~産業、歴史~アート、何でもOK、連携・協働しやすい
- ③ **ゆるさ** : 気が楽、自由度が高い、PDCAが早い、チェックが小、変更易い
- ④ **自立性** : 参加者の自立性の意識化、やりがいの実感、運営者の軽減
- ⑤ **連携性** : 人脈、情報入手、知見のFB、ネットワーク型組織

■コミュニティカフェのタイプ：様々なコミュニティカフェ

* 大きさ：居場所の広さ、事業費等によるあくまで主観的イメージです



大倉山ミエルの特徴：

小さい



小さく始めやすい。
リスクが少なく済む。

全方位
(全生活)



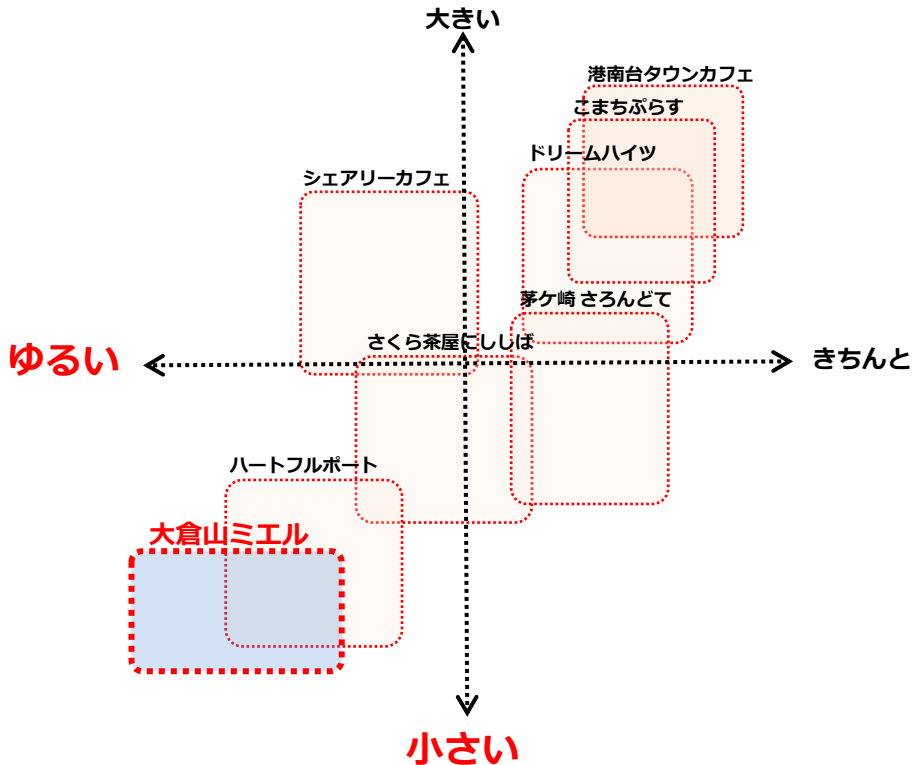
様々な出会いが期待できる。
活動が広がり易い。

①-2 ミエルの特徴2 :

- ① 小さい : 少人数でできる。動きが速い、ボランティアでやり易い、始めやすく、やめやすい
- ② 多世代 : 全生活、多世代 -1歳~101歳、ケア~ビジネス、環境~産業、歴史~アート、何でもOK、連携・協働しやすい
- ③ **ゆるさ** : 気が楽、自由度が高い、PDCAが早い、チェックが小、変更し易い
- ④ 自立性 : 参加者の自立性の意識化、やりがいの実感、運営者の軽減
- ⑤ 連携性 : 人脈、情報入手、知見のFB、ネットワーク型組織

■コミュニティカフェのタイプ : 様々なコミュニティカフェ

*ゆるさ : あくまで主観的イメージです。



大倉山ミエルの特徴 :

小さい



小さく始めやすい。
リスクが少なく済む。

ゆるさ



自由度が高い、自立性が
生まれやすい。

・ミエルのパンフ作成「ミエルの木 2021」について

大倉山ミエルの活動13年目で初めて「パンフ」を作成



現在、移転3回で4カ所目。活動も多岐へと広がり、日々変化している。
ミエルALLのラインG、現在234名、その中心で自立的に企画・運営に参加している企画部（現在27名）の親中心のコミュニティもある。

③ ミエルのカレンダー

大倉山ミエルの毎月のカレンダーは企画部のLINEによる情報共有で制作している。HpやFacebook、お店での紙でも発信している。

大倉山ミエル 4丁目 カレンダー

『新しい地球』のある 心豊かに過ごせる自分できる街づくり



住所：〒163-0204 大倉山4-26-26 (真夏通り線 大倉山駅)から徒歩12分 (マンションビルと隣り合います)



☑ カフェメニュー (カフェを再開中です)
Drink menu
ドリップコーヒー (HOT・ICE) ¥300
紅茶 (HOT・ICE) ¥300
Food menu (フードメニューは当山休日にいたします)
♡ カフェはいつでもご来店いただけます。

連絡先
電話：045-717-6778 (通話料がかかります)
Mail：mieru@rf6.so-net.ne.jp
NPO法人 街カフェ大倉山ミエル 鈴木智香子

- ♡ FP・フードパントリー
コロナ禍の「いただきます」のかけこみ。フードバンク事業は、ヒーローン活動、認知症高齢者見守り、認知症サポータークラブの運営支援等を行い、手と心をつなぐ活動の推進に貢献することを目的として活動しています。主に食料の提供を行います。シニアを対象とした2週間、月2回開催です。申し込みは必ずしてください。お申し込みは、地域の自治体や福祉関係の施設等を通じて問い合わせを行います。
- ♡ 赤ちゃんカフェ
赤ちゃんと暮らすお母さん、お父さんのゆかり、あしやべり会です。ぜひ遊びに来て、あなただけあつめてください。

2023年3月のカレンダーです。コロナ禍で心配もつづけますが、感染防止対策を行い、お友達でのリアルな活動を回復していきます。1月には「夢見る小学校」の上映会を開催しました。暮らしの「つながるフォーラム」も開催しました。放課後ミエルは今年も自主財団の「第3の復興事業」へ応募したり、東急子どもプロジェクトの支援も受け「子どもと大人で食事を作るプロジェクト」も進めています。又「大倉山子ども若者支援関係者会」では、2月4日に「不要紙の大量の捨て会」も開催しました。



| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 27 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 28 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 01 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 02 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 03 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 04 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 05 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 |
| 06 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 07 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 08 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 09 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 10 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 11 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 12 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 |
| 13 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 14 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 15 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 16 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 17 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 18 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 19 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 |
| 20 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 21 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 22 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 23 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 24 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 25 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 26 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 |
| 27 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 28 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 29 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 30 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 31 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 1 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 | 2 おでかけミエル 13:00-13:00 ☑ カフェ 13:00-15:00 ● 放課後ミエル 15:30-18:00 |

- ♡ つながる情報：1回/月 (毎月1日のワンダーフォーゲル) 21:00
様々なコミュニティに関心のある方とエールが繋がって、懸念や不安を共有し、仲間を応援し合える場があります。春1,000円です
- ♡ OPEN DAY：ご家族の皆様と同時開催
ミエルの見学と説明の会です。13:00～15:00～
各定員名。ドリンク1,000円です。ぜひ遊びに来て下さい。
- ♡ 出展ミエル「みんなで遊ぼう！ ちびっこミエル」
● 公園遊び会「おどろたん」(第1,3,5,7,9,11,13,15,17,19,21,23,25,27,29,31回)
● ミエル情報(第1,3,5,7,9,11,13,15,17,19,21,23,25,27,29,31回) 終了の活動に参加可。

- 大倉山はちみつ (大倉山はちみつ研究会)
大倉山地域で産した「大倉山はちみつ」の販売を再開しています。香豊、秋葉、産直を販売しています。
- 大倉山ミエルは「ゆるい地球」のある、心豊かに、のびのび過ごせる自分たちの街づくりを、-1層～10層まで、どなたでも、いつでも立ち寄れる場所となり「開き合える場所」のある「人と出会う」場を創っています。

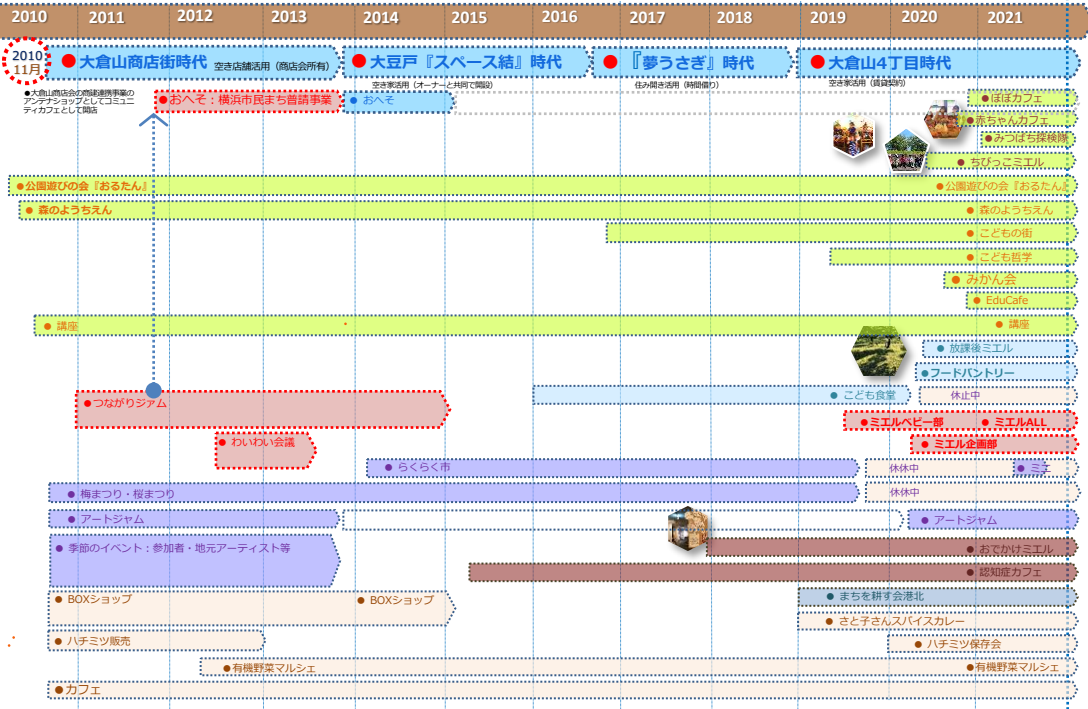
④-1 ミエルのこれまで：活動

- 3度の移転と4回の立上、2010年11月開設から12年
- 4カ所の居場所
 - ① 大倉山商店会のはちみつのアンテナショップとしてオープン。賃料14万円（10坪）
 - ② 区役所近くの空家、大きな一軒家（2階建）をオーナーと開店（48坪）
 - ③ 家開きの小さなキッチン・カフェ・ギャラリーを時間借りで運営。3年目には横浜市生活支援事業（サービスB）も開始しました。（15坪）
 - ④ 住宅地の空ギャラリー+工房に移転。平屋で、テラス、駐車場付き、家賃12.5万円（22坪）横浜市生活支援事業（サービスB）により賃料+光熱費程度が出ている。
- 現在の大倉山4丁目に移転してから、ミエル企画部の自立的な活動に支えられて、小さいけれど多くの活動がうまれてきています。

1 活動 大倉山ミエル・地域での協働活動の見える化 2021

・ボランタリー基金21の神奈川県との協働事業

大倉山ミエルの活動・ひと・活動団体・協働活動・補助金等について、ミエル開設から11年の有り様を見える化します。様々な変化にどんな理由があるのか考察します。



④-2 ミエルのこれまで：ひと・団体

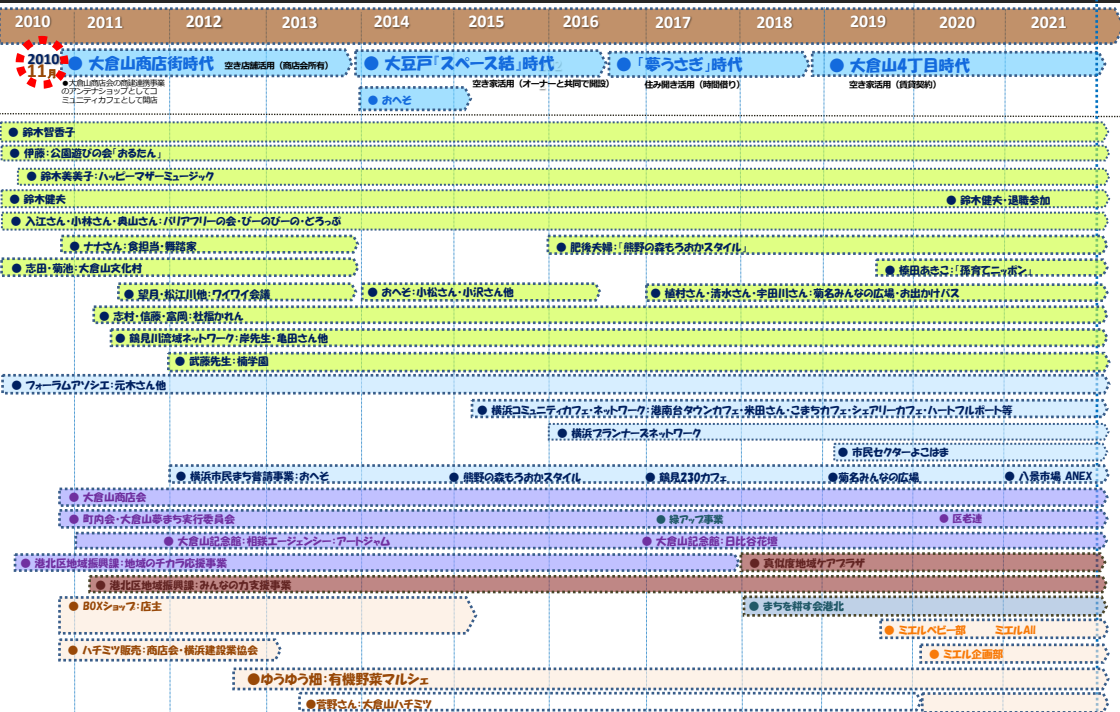
- 地域の活動団体の先輩方には開設当初から、様々な活動を支援してもらっている。
- ① 開設当初からのコアメンバーは鈴木智香子、鈴木美子氏、鈴木健夫（サポート）の3人、2021年からは鈴木健夫が定年後、本格参画している。
- ② 移転のたびに参加メンバーの多くは交代している。
- ③ 子どもの遊び場『おるたん』の伊藤さん、「熊野の森まろおカスタイル」の肥後さん夫婦、孫育てニッポンの榎田さんとは、信頼関係と緊密な協働活動を展開できている。
- ④ 4丁目に移転してからの、ミエル企画部のメンバーとの様々な活動の展開は目ざましい。

2ひと・団体

大倉山ミエル・地域での協働活動の見える化 2021

※ボランタリー基金21の特別川組との協働事業

大倉山ミエルの活動・ひと・活動団体・協働活動・補助金等について、ミエル開設から11年の有り様を見える化します。様々な変化にどんな理由があるのか考察します。

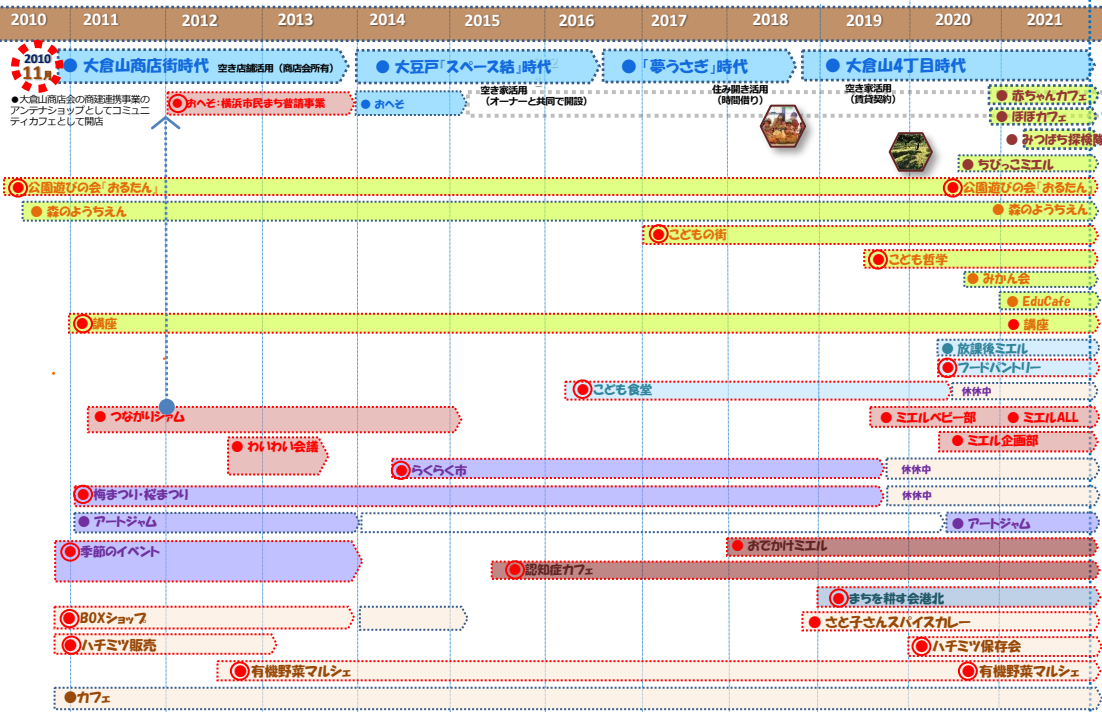


④-3 ミエルのこれまで：協働活動

- ミエルはミエル内部の活動も、外部との協働活動も、常に誰かと一緒に活動を企画・運営しています。地域の活動団体の先輩方には開設当初から、様々な活動を支援してもらっている。
- ミエルは開設当初から12年間、『活動をつなぐ活動』を活動の一つの柱として活動しています。
 - ① 地域に開くことは、つまり地域の他団体や行政関連機関等とつながって活動してゆくことと考えて、活動し続けています。
 - ② まず、こちらから働きかけることが全ての始まりだと考えています。待っているは何も始まりません。
 - ③ 変更は当たり前、継続する事より、楽しくやれる事を重視しています。
 - ④ 些細なことは、気にしないことが、自由度を確保するための大切だと考えています。

3 協働活動：外部 内部 大倉山ミエル・地域での協働活動の見える化 2021

大倉山ミエルの活動・ひと・活動団体・協働活動・補助金等について、ミエル開設から11年の有り様を見える化します。様々な変化にどんな理由があるのか考察します。



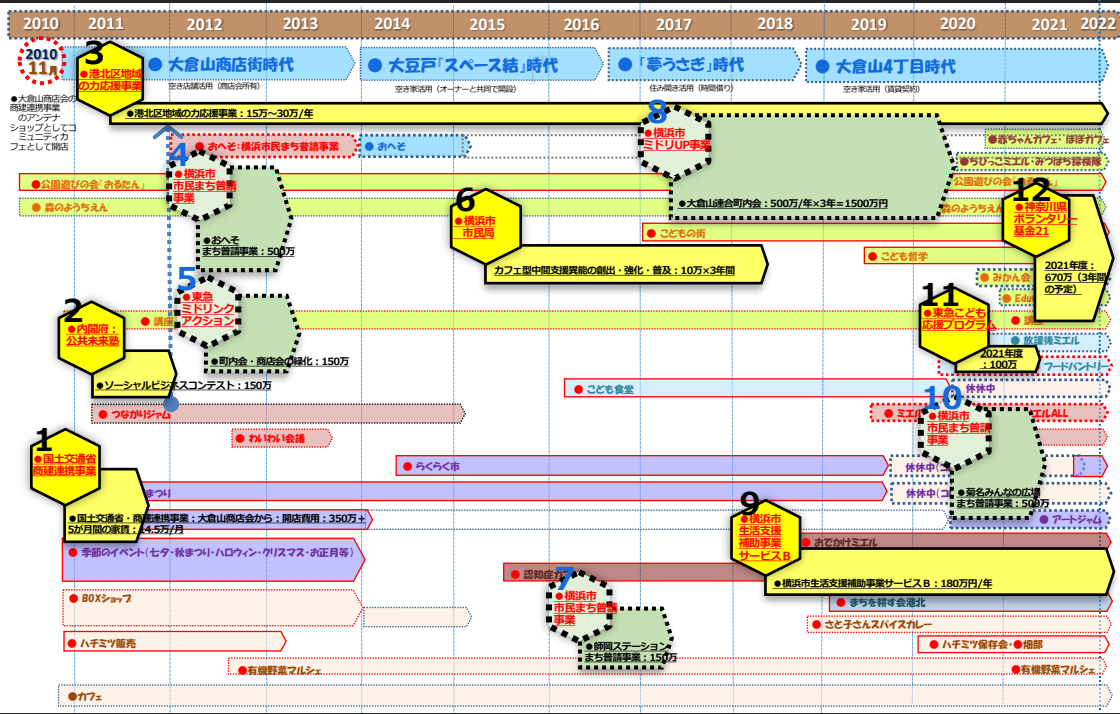
④-4 ミエルのこれまで：補助金

- 大倉山ミエルは2010年の開設当初から国交省の「商建連携事業」や内閣府の「公共未来塾」等の補助金をいただいて活動を開始しました。その意味で特に現在は、大倉山ミエルの活動は、有志のボランティア活動と補助金によって運営をしてきています。
- ミエルは開設当初から港北区の地域の子カラ応援事業の補助金を受けています。金額だけでなく、区（行政）に活動を認められることが、広報やその後の活動の認知に役立ちます。
 - ① 補助金もいきなり大きな補助金獲得はむずかしい面もあり、実績が必要でもあり、活動同様、小さな補助金から順次、大きな補助金に応募していく。横浜市であれば、市民協働推進支援センター等に相談することもおすすめです。
 - ② ミエルは横浜市まちづくりコーディネーターでもあり、横浜市市民まち普請事業の支援や、横浜市内のいくつかの区の支援事業もおこなっています。

4 補助金等：大倉山ミエル・地域での協働活動の見える化 2021

ポランタリー基金21の協働川組との協働事業

大倉山ミエルの活動・ひと・活動団体・協働活動・補助金等について、ミエル開設から11年の有り様を見える化します。様々な変化にどんな理由があるのか考察します。



⑤ ミエル企画部の「楽しい活動+少しのボランティア」

1 ベビー部の誕生の要因

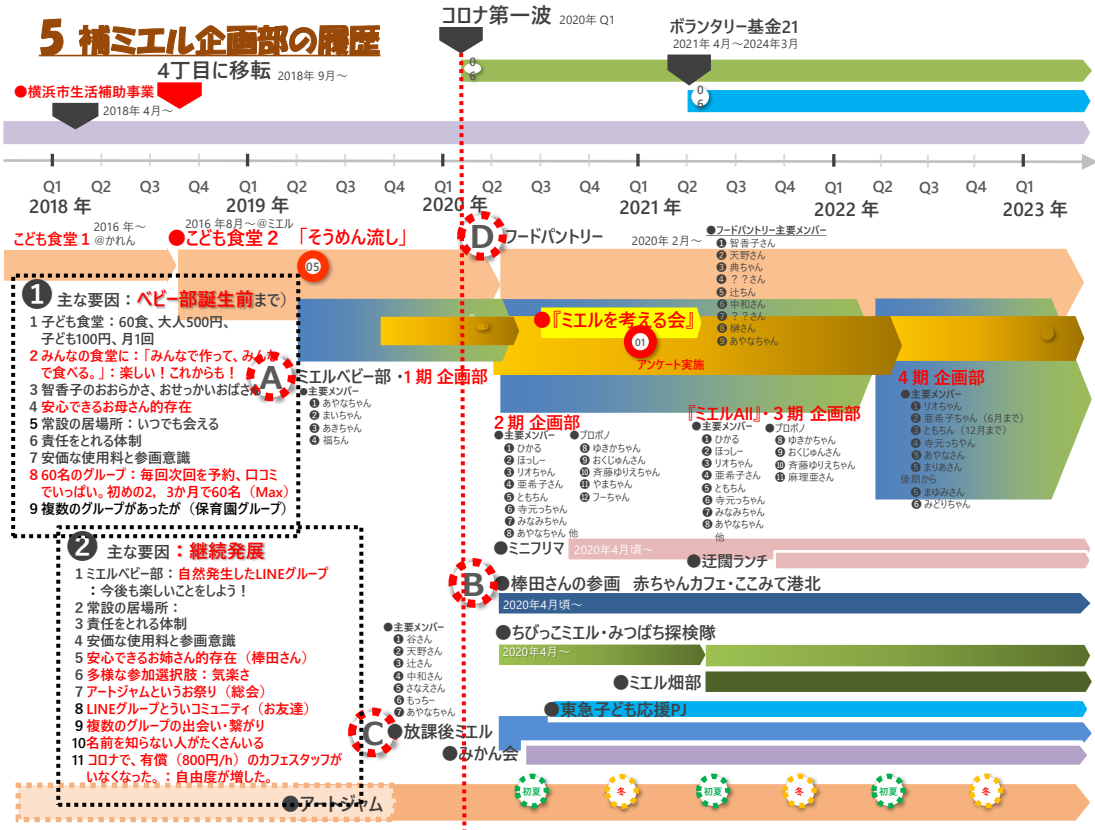
- ：楽しい体験を継続したい。みんなにも体験してほしい。
- ：ミエルの基本的在り方として：心的安全性（優しいじいじとばーば）

2 日常的な楽しいコミュニティを作ろうとしているミエルの姿勢。

3 継続発展の要因

- ：安心できるお姉さんの存在（棒田さん）
- ：多様な参加選択肢：気楽さ
- ：アートジャムというお祭り（総会）
- ：LINEグループというコミュニティ（お友達）
- ：複数のグループの出会い・繋がりが

5 補ミエル企画部の履歴



⑥ 大倉山ミエルの「3度の移転」

- 様々な人たちとの関わり → 心的安全性+知の共有
 - ・地域で長く活動をしている方々との連携
 - ・フォーラムアソシエなど、生活クラブの方々の連携
 - ・横浜コミュニティカフェネットワーク、横浜プランナーズネットワークとの繋がり
 - ・市民セクターよこはま協働推進センターとのかわわり
 - ・港北区子ども若者支援団連絡会立上、社協とのかわわりなど。
- 地域活動が大切、居場所だけにこだわっていない。
 - ・イベント → 日常活動 → コミュニティ
 - ・カフェ運営に本気になれない。

■大倉山ミエルの3度の移転



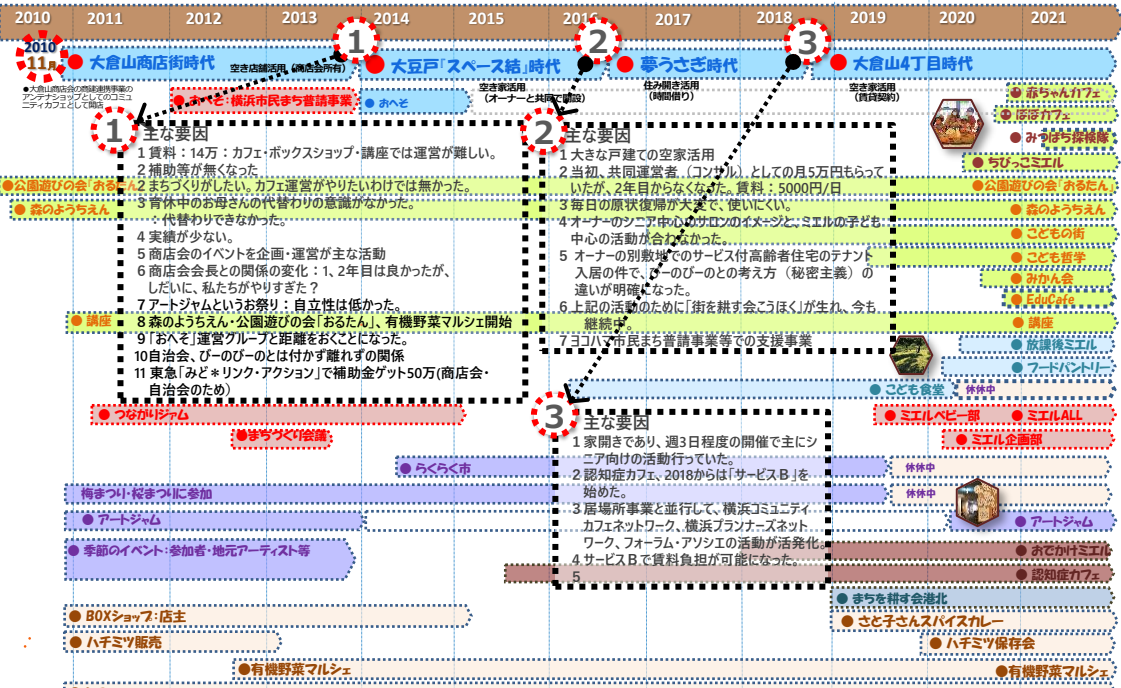
- 継続へのこだわりが少ない。(転動族の街づくり)
 - ・「いいものは、長続きしない。それが世界の原理です。でも、その素晴らしい出来事が、その先の時間を豊かにしてくれます。」 : @「屋根のない学校」奈須正裕先生の言葉

6 移転 大倉山ミエル・地域での協働活動の見える化 2021

●大倉山ミエルの11年の活動の見える化により、活動の活性化のポイントや有り様を分析するための「イシューMAP」です。

※ボランティア募集は2019年以降の協働情報

大倉山ミエルの活動・ひと・活動団体・協働活動・補助金等について、ミエル開設から11年の有り様を見える化します。様々な変化にどんな理由があるのか考察します。



⑦ ミエル企画部・ミエルALL

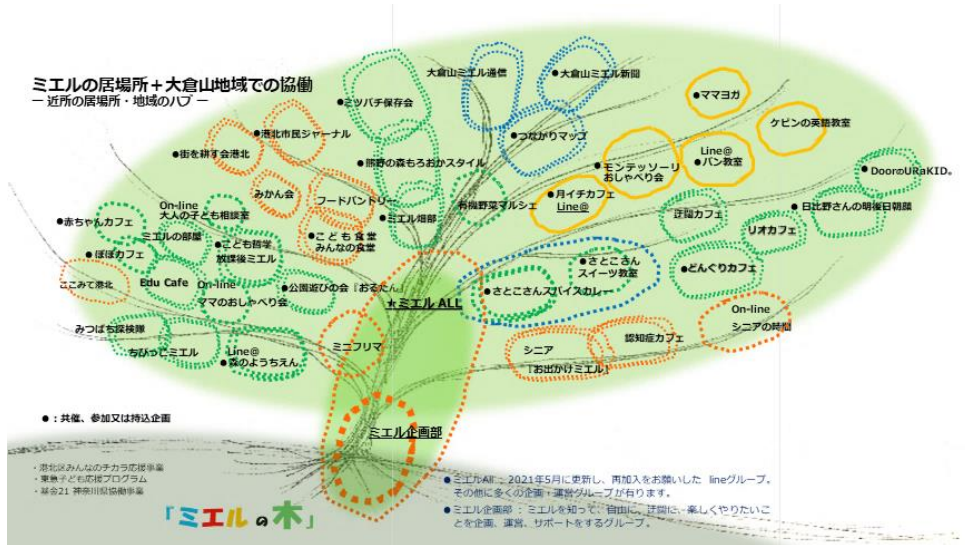
- 1 自然発生型の組織：子ども食堂、みんなの食堂 から生まれたLINEグループ
- 2 自立性重視：いつの間にか活動している、「ミニフリマ」「迂闊カフェ」「みかん会」…
- 3 LINEグループ：情報共有・コミュニティの醸成、テーマ型コミュニティ。
- 4 世代交代：育休中の親が中心：毎年次期を誘う。そして、ゆるくかかわり続ける。

● 全ての活動を温かく見守るミエルという家（プラットフォーム）

- ・ 自立的な活動へのヒント：ミエル企画部；ミエルは情報共有をする毎年更新する「ミエルALL」（現在230名）というLINEグループと、ミエルを自主的に支え、ミニフリマ、みかん会、みつばち探検隊等を自主的に発案・企画・運営等を行い、その他、多くのLINEグループのまとめ役を担う「ミエル企画部」（現在25名）のLINEグループが有ります。
- ・ 令和一年夏のソーメン流しの時に自然発生的に生まれたLINEグループが始まりで、育休中の親ごさんが中心的に活動していて、毎年、育休が終わると、時期の世代につなげる必要が、一期からメンバー自身が、自分たちで、次期のメンバーにつないできて、現在四期に移行中です。
- ・ ミエルのコミュニティは課題解決型ではなく、そこにいる人が必要な事、やりたい事を、できることから始めるタイプです。できる範囲で無理なく、楽しく始める活動です。いつも、「良いね！やってみて！」 「無理なら、いつでもやめていいよ。」と言っています。サポートというより、全員が仲間として考えています。

■ ミエルの根・幹：ミエル企画部、枝・葉：ミエルALL

- ・ ミエルの様々な活動の企画や運営を自主的に支えるミエル企画部（2022.03 現在27名）、そして、ミエルの参加者・利用者としてのミエルALL（2023.03現在237名）というゆるいコミュニティが続いている。



『活動』 → 『つながりそのもの』が目的
『楽しいコミュニティを作り・わりなく続けること』が目的

⑧ プロボノメンバー座談会 「ミエル企画部のこれから」

- ミエル企画部のメンバーで、ミエル企画部のこれまでとこれからを、意外に、まじめに話し合ってもらいました。
 - 新旧の見える企画部のプロボノメンバーの座談会を開催。20230211
 - 第一回ミエルプロボノミーティング議事録 2023/02/11
参加者：ゆきか、アヤナ、谷篤、おくじゅん、斎藤ゆりえ、りお
- 鈴木健)** ミエルでのゆるい活動が、なぜできているか、その展開方法などきいてみたい。

谷) もし鈴木夫妻がゆるい要因だったとしたら、移転できない～！！

おくじゅん) それもあるけど、地域性と、いろんなものの複合体がうまく噛み合ってるからかなと思う。

鈴木健) 「さろんどて」の早川さんも、ミエルのゆるさが魅力的だと思っているけど、ミエルみたいにはっきりものが決まってないのにスタートしたり、いつのまにかやめたり、途中で変更したり、なかなか難しい。と話しています。

鈴木智) アクションポートってどんな感じ？

ゆりえ) 「さろんどて」のようなきちっとやっていく組織の中で、ゆるい部分を残さなければならぬ部分はわかる！ ある程度お金を回している組織だと、お金を出されている事業だと結果を出さなきゃならない。ミエルみたいに場があって回っている中でも、支援や責任あることを目的としてやっているところは、ある程度職員が責任を持ってやらねばならぬものがあるという中で、ボランティアや地域の繋がりがだったり利害関係性の薄い人たちがゆるりと交わる「余白」をどう組み込んでいくかの悩みだと思う。ミエルの在り方と、他のミエルの良さを伝播させていきたい先の在り方が違う、環境や所用の条件が違うという話だと思っていて、ミエルであっても、向き合っている壁はあまり変わらない。助成金を取っている部分はしっかりやりつつ、経理や裏側をやりつつ、その中にこのゆるさの場がどのように生きているのか浮かび上がってくると今日話したいところではないか。

アクションポートは、学生の参加を促す地域の団体やNPOや公共施設に学生が生き活きと活動できる場を作っておくといいたい！と言っている組織。学生は事業をやっている人から見ると不確定。こういう風に活動の枠組みを作るとやりやすい。ミエルの枠組みがどのようにできているのか、枠組みがあって人が入ってきている形ではなくて、人と出会いながら枠組みができていくというプロセスを踏んでいると思う。

接点がないところからスタート。枠組みを作らなないと交われない。ミエルと地域の人たちの場合は、枠組みがなくても関係性が持ちうるところがスタート。今の話とは繋がらない。

頭出して思ったのは、ゆるいのがいいというのは皆思っていると思うが、自分が活動運営している中での実感、ゆるいと単純に霧散する。ゆるいや自由で集まる人の意思を尊重しても、その活動にまだ入ってきてない人にわかりにくいから人は惹きつけられない。ゆるいや自由の良さで自走するのは繋がらなくて、それ以外で何があるのかな？

谷) 「ゆるい」以外のキーワードが出ると良い！

鈴木健) 「だから僕たちは組織を変えていける」の講師でもある鈴木勇次さんが特別ゲストです！

谷) 「ゆるい」は良い！だけど「ゆるい」から脱却しないと智香子さんのパーソナリティーに依存してしまい、厳しいリーダーのNPOの人がマネできない。

目的主義ではないのが印象的。目的を持つのが大事だと言いがち。NPOは利益を追求しない分、理念が大事と思いがち。ミエルは目的がはっきりしなくていいのが、は特殊。

鈴木健) 障害児やダイバーシティの基本的な考え方。

谷) ビジョン、すごく良い！放課後ミエルでビジョンを作りたい！

健夫さんと智香子さんが違う意見を言ったこと、とても大事だと思っている。2人が違う意見を持っていることで、いろんな幅が広がっていく。結果的にいい効果をもたらしているのではないかな。

おくじゅん) 結束力があるからゆるいだけではない。ゆるさの象徴として、関わり方の大小を許容する許容力をゆるさと表現しているのではないかな。他のNPOを見たことがあるが、理念や信念がしっかりしているNPOだとコアに活動している人たちの熱量や活動力などが一緒じゃないと気が済まない。

多少出ることを許容しない組織が結構ある。ミエルはそういうのではない。ゆるさ、許容力が持てない人は結構多いのではないか。それがない集まりをマネできればいいのでは。みんながいろんなことをやっているが、根底にある思いとしては、「**ミエルの場を残したい!**」という気持ちが特に中心メンバーにはあるのではないか。ダイバーシティは場がなくとも思想があればできる。ミエルはこの場がないとできないことがある。無くさないために、あれやりたい!これやりたい!の発想が出てきているのではないか。

谷) 関わり合いや熱量を同じくらいに求めちゃう組織が多いと聞いて、PTAがまさにそう!

おくじゅん) 自分で手をあげたりできると、物事はポジティブに自己裁量で取れると思うが、受け身で入ってくると違う。受け身の人を許容する心があるかで場の成り立ちは違ってくるかなと思う。

りお) 同じ立場同士なので強要はできない。助け合いで成り立っている。小さい活動で、気楽にできる活動を求めているママさんが多い印象。成果を求めないからこそ継続して活動ができる。

ゆりえ) ゆるい集まりほど中心に立つとしんどい。周りは助けてくれるけど強制はできない。中心に立つという楽しさが見えてきて、ある程度顔つなぎができるからこそ、自分ができることが増えてきて楽しくなってくるが、バトンを渡せる人がいない。自分が続けるかやめるかの選択肢しなくなる。じじばあばの壁の乗り越え方が知りたいポイントになってくる。

アヤナ) ひかるちゃんほっしーが1年馴らしてくれたのと、コロナもあって一旦ペースダウンした。ZOOMも含めて何回か話し合ったことで意識統一された。**子育て世代という大きな共通点があって**、一緒に親になりつつあって、子どもの成長を見守りながら楽しいことをやるよ!というビジョンがあった。困ってるママを助けたときは派生して出てきた。コロナ前に自分たちが楽しいことをやってたら、他のママが集まってきて一気に100~150人くらいに増えた。大人(じじばあば)が違った意見を言い合っていて、それを子どもも見ている。子どもの目線で言ってくれて、その中で子ども達も育っていく。それを見た大人は、なんて安心できる場なんだと感じた。1人で子育てするより皆で群れて子育てした方がいいと思えた。**ミエルは生活の中での延長線**、ここで過ごす自分もやれることがあるのかな、役に立てることがあるのかなという考えが自然と生まれてくる。コアメンバーじゃなくても関わってくれる方が思う瞬間があるのではないか。

鈴木智) コロナが挟まったのは偶然ではない。これからまたギアが変わってくるのでは。ビジョンがあれば良い!立ちもどれるのでは。熱海や畑など、外に出かけていけるのもミエルの強み!キャバシティーが広がる。

鈴木美) 網代の廃校を使って何かできるかも!ミエルの場を使って自由になんでもやりたいことをやっている枠組みなのが良い。場を使って欲しいというスタンスだったのがハマった。南熱海の家も、自由に使って欲しい。

ゆきか) ミエルの良さは無理強いしないこと、**やりたいと思ったことをジャッジされないゆるさ**が良い。やりたいと言ったことが、何か誰かと繋いでくれる。やりたいと言わなくても会話の中から「やってみたら」とアクションに繋がるコミュニティがやることに対するハードルが低い。子どもの事情でやりたいけどやれない時に必ず誰かが手伝ってくれて、また誰かができない時に助ける良い循環が生まれている。皆で協力し合いながらやっていることが、誰かの達成感になっている。コロナのせいで、**クローズドな生活の中でミエルでは発散でき、それが結束力になって今のミエルALLになったのではないか。**

鈴木智) コロナになった時に、与えられるものがたくさんあった。そのことをブラッシュアップすれば良いのかも。

鈴木健) コロナが収束してくると、前はどこにも行けなかったからミエルの存在が役に立ったけど、今後ミエルの役目が薄れていくことは絶対あって、その時にどう対処していくか。ミエルが変わっていくのはそれはそれで良いのかなと。コロナだったからミエルALLや企画部ができたが、これも変わっていくと思う。コロナの時にミエルがすごくよかったことは、コロナじゃない時にも必要なことなので、維持できることを考えていかなきゃならない。

おくじゅん) コロナが明けても変わらないのではないか。少子化と長野県の公園問題が勃発するように子連れいける場所がせちがない世の中になってきていて、人が集まることに敏感になってきている。アフターコロナになっても簡単に抜けられない。少子化を食い止めるには、こういう場がないと生き苦しい人が増えて少子化が加速するのでは。気兼ねなくいけるところは少ない。

港北区のエリアは地元じゃない人が多く、共働き世帯も多く、こういうコミュニティの場はありがたい。以上

9 ミエルの協働活動

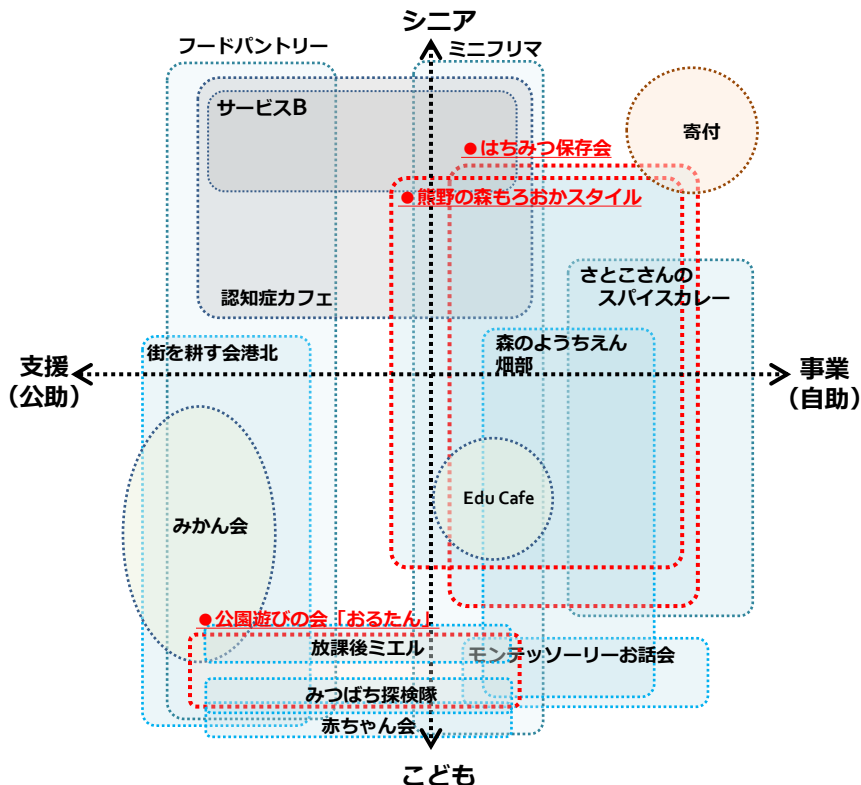
- 大倉山ミエルの協働活動：① ミエル内部の協働
- ② 大倉山地域での他の活動団体や行政機関等との協働

1 ミエル内部の協働

見えてきた協働の課題とヒント

- ・ ゆるく、ながく、楽しいコミュニティが、自然に続いていけることが目標だと考えています。当然時間の経過と共に変化してゆく関係だと思っています。「ゆるい大家族」のような関係とも言えるでしょう。メンバー同士の日常的な助け合いの関係が大切だろうと考えています。
- ・ 改めて市民活動の課題は、活動の担い手の高齢化、活動費の必要性と捻出方法で、その解決するために重要なポイントは何か？、そして、そのヒントは、其々の活動団体が、**つながるためには、自分たちに不足していることをみんなで共有して、お願いしてゆくマインドが大切**。そして信頼関係が必要です。

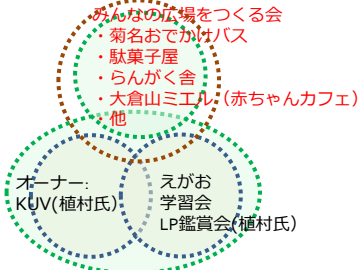
■ミエルの活動・協働活動広がり：活動の重層性



『課題解決のための活動』 → 『自然発生的・やりたい人が始める活動』

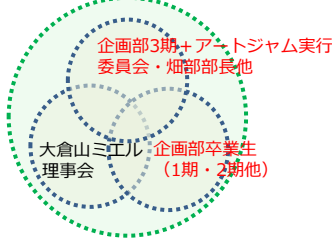
2 大倉山地域での他の活動団体や行政機関等との協働 1

1 菊名みんなの広場 → 「菊名あったか」



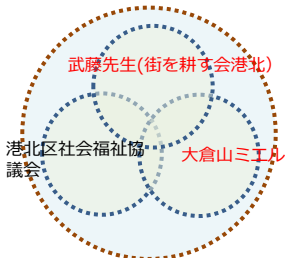
- 立上・街普請支援・そして現在、分裂中；協働活動は休止中

3 ミエル企画部



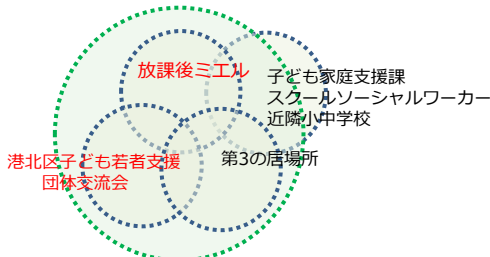
- 自然の発生したミエル企画部1期そして育休明け毎の世代交代で4期目。ゆるいけど強いつながり。

5 子ども若者支援団体交流会



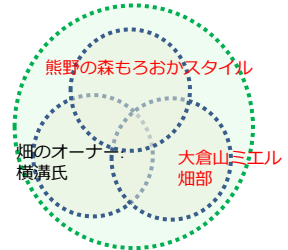
- 武藤先生の呼びかけに大倉山ミエルも協力して社協に持込、社協に前向きに協力していただいていた順調に進んでいる。(港北区の3団体+2機関程参加中)

7 放課後ミエルからの展開



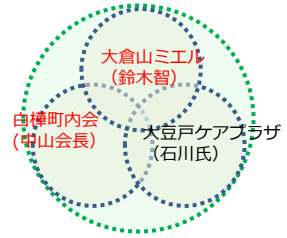
- 放課後ミエルのボランティアのお父さんのやりたい事の支援でもある「子ども第3の居場所」への展開も目指し、子ども若者支援団体交流会とも、連携してゆく予定。

2 大倉山はちみつ保存会



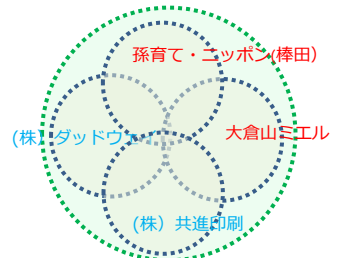
- はちみつ保存会；熊野の森もろおがスタイル・畑のオーナー・大倉山ミエルの協働事業

4 自治会館の再利用



- 地域ケアプラザと共に、白樺自治会館の有効活用について、自治会と打合せを始めている。

6 「ここみて港北」LINE妊産婦支援



- 樺田さんの発案で企業にも出資してもらって、ミエルも協力して進めている。大倉山地域での「赤ちゃん会」の開催も行っている。

3 居場所の作り方マニュアル (お試し2022)

協働する居場所の作り方：公開性・社会性・常設性・事業性？

2021.01.07

1 やりたい事？

目的の共有
①仲間づくり
②自分たちの声
③自分たちの思い
④地域の課題
⑤やれる事
⑥やりたいこと
⑦具体的なアクション
⑧活動・事業計画書

2 参考に学ぶ

先輩につながる
①活動の仕組み
②先輩のノウハウ
③活動・事業計画書
④地域・地域協
⑤活動のやり方
⑥活動のノウハウ
⑦活動・事業計画書
⑧MAPの

3 具体的なプラン

無理ないプラン
①やるべきこと
②やるべき場所
③やるべき時期
④やるべき人
⑤やるべきこと
⑥やるべき場所
⑦やるべき時期
⑧やるべき人

4 まず、お試し

地域の仲間作り
①まず、色々とお試し
②仲間づくり
③自分たちの声
④自分たちの思い
⑤具体的なアクション
⑥活動・事業計画書

5 始動

やれることから
①仲間づくり
②自分たちの声
③自分たちの思い
④具体的なアクション
⑤活動・事業計画書

ステージ 01

ステージ 02

ステージ 03

ステージ 04

ステージ 05

ほとんどに居場所が必要？

つながり減しめ！

ゆるく、ながくつなげる

Step 1 キーワードの具体化

1 やりたいこと？

目的の共有

- ①仲間づくり
- ②自分たちの声
- ③自分たちの思い
- ④地域の課題
- ⑤やれる事
- ⑥やりたいこと
- ⑦具体的なアクション
- ⑧活動・事業計画書

1. 『やらないこと』の共有

- ①仲間づくり
- ②自分たちの声
- ③自分たちの思い
- ④地域の課題
- ⑤やれる事
- ⑥やりたいこと
- ⑦具体的なアクション
- ⑧活動・事業計画書

2. 『やること』の検討

- ① 公開性・社会性・常設性・事業性
- ② 地域の課題
- ③ 地域性・事業性・常設性・公開性
- ④ 地域への貢献
- ⑤ 地域への貢献
- ⑥ 地域への貢献
- ⑦ 地域への貢献
- ⑧ 地域への貢献

3. 足りないことを知る：お願いする

- ① 地域への貢献
- ② 地域への貢献
- ③ 地域への貢献
- ④ 地域への貢献
- ⑤ 地域への貢献
- ⑥ 地域への貢献
- ⑦ 地域への貢献
- ⑧ 地域への貢献

4. 具体的なプランをつくっている

- ① 地域への貢献
- ② 地域への貢献
- ③ 地域への貢献
- ④ 地域への貢献
- ⑤ 地域への貢献
- ⑥ 地域への貢献
- ⑦ 地域への貢献
- ⑧ 地域への貢献

Step 2 キーワードの具体化

2 参考に学ぶ

先輩につながる

- ①活動の仕組み
- ②先輩のノウハウ
- ③活動・事業計画書
- ④地域・地域協
- ⑤活動のやり方
- ⑥活動のノウハウ
- ⑦活動・事業計画書
- ⑧MAPの

1. 先に学ぶ

- ① つながりMAPを作る
- ② 参考に学ぶ
- ③ 参考に学ぶ
- ④ 参考に学ぶ
- ⑤ 参考に学ぶ
- ⑥ 参考に学ぶ
- ⑦ 参考に学ぶ
- ⑧ 参考に学ぶ

2. 近々の先輩に学ぶ、つながる

- ① 地域への仲間作り
- ② 地域への仲間作り
- ③ 地域への仲間作り
- ④ 地域への仲間作り
- ⑤ 地域への仲間作り
- ⑥ 地域への仲間作り
- ⑦ 地域への仲間作り
- ⑧ 地域への仲間作り

3. 活動・事業計画書

- ① 地域への仲間作り
- ② 地域への仲間作り
- ③ 地域への仲間作り
- ④ 地域への仲間作り
- ⑤ 地域への仲間作り
- ⑥ 地域への仲間作り
- ⑦ 地域への仲間作り
- ⑧ 地域への仲間作り

Step 3 キーワードの具体化

3 具体的なプラン

無理ないプラン

- ① 地域への仲間作り
- ② 地域への仲間作り
- ③ 地域への仲間作り
- ④ 地域への仲間作り
- ⑤ 地域への仲間作り
- ⑥ 地域への仲間作り
- ⑦ 地域への仲間作り
- ⑧ 地域への仲間作り

1. 小さく始める

- ① 地域への仲間作り
- ② 地域への仲間作り
- ③ 地域への仲間作り
- ④ 地域への仲間作り
- ⑤ 地域への仲間作り
- ⑥ 地域への仲間作り
- ⑦ 地域への仲間作り
- ⑧ 地域への仲間作り

2. コミュニティづくりの始まり

- ① 地域への仲間作り
- ② 地域への仲間作り
- ③ 地域への仲間作り
- ④ 地域への仲間作り
- ⑤ 地域への仲間作り
- ⑥ 地域への仲間作り
- ⑦ 地域への仲間作り
- ⑧ 地域への仲間作り

3. 事業性も考える

- ① 地域への仲間作り
- ② 地域への仲間作り
- ③ 地域への仲間作り
- ④ 地域への仲間作り
- ⑤ 地域への仲間作り
- ⑥ 地域への仲間作り
- ⑦ 地域への仲間作り
- ⑧ 地域への仲間作り

Step 4 キーワードの具体化

4 まず始めよう

地域の仲間作り

- ① まず、色々とお試し
- ② 仲間づくり
- ③ 自分たちの声
- ④ 自分たちの思い
- ⑤ 具体的なアクション
- ⑥ 活動・事業計画書

1. 小さく始める

- ① まず、色々とお試し
- ② 仲間づくり
- ③ 自分たちの声
- ④ 自分たちの思い
- ⑤ 具体的なアクション
- ⑥ 活動・事業計画書

2. 専門家に相談して

- ① 地域への仲間作り
- ② 地域への仲間作り
- ③ 地域への仲間作り
- ④ 地域への仲間作り
- ⑤ 地域への仲間作り
- ⑥ 地域への仲間作り
- ⑦ 地域への仲間作り
- ⑧ 地域への仲間作り

3. 地域へのご挨拶

- ① 地域への仲間作り
- ② 地域への仲間作り
- ③ 地域への仲間作り
- ④ 地域への仲間作り
- ⑤ 地域への仲間作り
- ⑥ 地域への仲間作り
- ⑦ 地域への仲間作り
- ⑧ 地域への仲間作り

Step 5 キーワードの具体化

5 始動

地域の仲間作り

- ① まず、色々とお試し
- ② 仲間づくり
- ③ 自分たちの声
- ④ 自分たちの思い
- ⑤ 具体的なアクション
- ⑥ 活動・事業計画書

1. 担い手探し

- ① 地域への仲間作り
- ② 地域への仲間作り
- ③ 地域への仲間作り
- ④ 地域への仲間作り
- ⑤ 地域への仲間作り
- ⑥ 地域への仲間作り
- ⑦ 地域への仲間作り
- ⑧ 地域への仲間作り

2. 楽しく、ゆるく始める

- ① 地域への仲間作り
- ② 地域への仲間作り
- ③ 地域への仲間作り
- ④ 地域への仲間作り
- ⑤ 地域への仲間作り
- ⑥ 地域への仲間作り
- ⑦ 地域への仲間作り
- ⑧ 地域への仲間作り

3. 最良の広報は口コミ

- ① 地域への仲間作り
- ② 地域への仲間作り
- ③ 地域への仲間作り
- ④ 地域への仲間作り
- ⑤ 地域への仲間作り
- ⑥ 地域への仲間作り
- ⑦ 地域への仲間作り
- ⑧ 地域への仲間作り

1 「協働する居場所づくり」の概要

- ・居場所の目的はコミュニティづくり；つながりづくりそのもの。
- ・課題解決のような目的は無くても良いのでは？
- ・楽しく、無理なくが基本。
- ・月3時間から始めよう。
- ・仲間と一緒に。

1.2.3にもどる

① 「つながるミニフォーラム」2022の概要・タイムテーブル

・コミュニティカフェによる活性化について、特に「つながる」ための考え方等について、法政大学の杉崎和久さん、新川崎タウンカフェの齊藤保さん、茅ヶ崎さろんどての早川仁美さんとミエルで、話題提供していただきながら、勉強会的にお願いいただいた。

大倉山ミエルは神奈川県との協働事業で『孤の解消』のために
**「活動団体がつながることによる
 コミュニティ活性化」**

を行っています。
 この事業(ボランティア基金21事業)では
 ① 大倉山ミエルや大倉山地域での協働事業等の活性化と、その見える化・モデル化
 ② それらを基にした県域への展開
 ③ コミュニティ活性化のための人材育成のためのOJT的研修・つながりづくりを行っています。その中間報告としてミニフォーラムを開催します。

1/30 (日)
 13:30~15:30+交流会
 @zoom

ミニフォーラム

**つな
 が
 る**

杉崎 和久 モデレーター
 法政大学教授 法政大学の社会学部、大倉山ミエルが協働事業の事務局。茅ヶ崎さろんどてのセンター。新川崎タウンカフェ、新川崎タウンカフェ、茅ヶ崎さろんどてのセンター。現在「つながる」をテーマに、茅ヶ崎さろんどてのセンター。現在「つながる」をテーマに、茅ヶ崎さろんどてのセンター。

齊藤 保 コミュニティカフェ運営に関する
 ナカハツの活性化と共有
 株式会社イータワー代表取締役 (cafeからはしまるおもしろまちづくり) をキャッチフレーズに、2005年よりコミュニティカフェ、場づくりや街づくりを目標し、著書「コミュニティカフェ〜まちの部活所のつくりか、鶴ヶ方」(学芸出版社)

早川 仁美 「さいとうさんち」から始まる
 寄り添った生活とその展開
 3人の子育てしながら、公民館や保育所の育児サークル、PTA、子供会、カールズカフト活動に参加。生活クラブに入会後は、組合員活動に力を入れ、それをきっかけに、保育フーカ、市議会議員に。認可保育園の園長を2年務め、現在は、地域のお茶の湯開業所を営んでる事務局長、市議会議員2期目。

鈴木 智香子 大倉山ミエルの小さな居場所と
 「活動をつなぐ活動」の見える化
 NPO法人街カフェ大倉山ミエル理事長、横浜市協働推進センターコーディネーター兼ネットワークアクトよこはま理事長、横浜プランナーズネットワーク、横浜コミュニティカフェネットワークの世話人、一級建築士、大倉山ミエルを開設して12年、小さくからできる自由な居場所とつながる活動を展開しています。



この事業は神奈川県ボランティア基金21の協働事業により行っています。

つながるミニフォーラム 2021

主催：大倉山ミエル

開催日：2022年1月30日 日曜日

13:30 ~ 15:30 + 交流会

定員：30名程度

場所：オンライン (Zoom) で行います。

参加費：無料

申込先：大倉山ミエルに電話又メール ☎ 045-717-677

Mail : miel@rf6.so-net.ne.jp



つながるミニフォーラム

2時間

■日時：2021年1月30日（日）13:30～15:30 @Zoom

■タイムテーブル

| | | |
|-------------|------------------------------------------------|---------|
| 13:30～13:35 | ① 主旨と時間割の説明 | 5分 |
| 13:35～13:40 | ② 簡単な自己紹介 | 5分 |
| 13:40～14:00 | ③ 基金21の進捗説明（大倉山ミエル） | 20分 |
| 14:00～14:15 | ④ 『さろんどて』早川さんからの話題提供 | 15分 |
| 14:15～14:30 | ⑤ 齋藤氏： 「コミュニティカフェ運営に関するノウハウの可視化と共有」 | 15分 |
| 14:30～14:35 | － 休憩 － | 5分 |
| 14:35～15:25 | ⑥ ディスカッション モデレーター：杉崎先生、パネラー：齋藤さん・早川さん・鈴木智香子 | 50分 |
| 15:25～15:30 | ⑦ まとめ | 5分 |
| | | 合計：120分 |

■対話内容：『協働によるコミュニティの活性化』・様々な協働の在り方

この事業は神奈川ボランティア基金21の協働事業により行っています。

② 「つながるミニフォーラム」2021での考察と気づき

- コロナの中で、オンラインによる活動報告的な「つながるミニフォーラム」を1月30日に開催し、30人の参加があった。この1年の基金21補助金事業による活動報告と、茅ヶ崎の困窮者支援、ひとり親家庭支援を中心とした活動紹介、新川崎や港南台タウンカフェを中心とした事例紹介や、コミュニティ分析と、学識経験者として法政大学教授の杉崎先生よりコメントをいただいた。動画の記録、参加者アンケートの集計を行った。
- ミエルの4回の立上、3回の移転がノウハウではないか？ 棚卸をしては？
- ミエル企画部の発生から、展開が担い手探し、活動の活性化でも興味深い。
- フォーラム開催と課題の共有化：今回のフォーラムは、ヨコハマ市民街営請事業の審査委員長でもある杉崎先生をモデレーターに、ミエルの中間報告の後、茅ヶ崎で「さろんどて」の事務局長の早川さんの「地域のお茶の間プロジェクトさろんどて」の説明では、茅ヶ崎駅前の「さいとうさんち」（空家活用）での高齢者向けに始まったカレーの会が、プレマと赤ちゃん会・傾聴講座に、そして第二の活動拠点で始めた子ども食堂から、コロナ禍に始まって、フードバンクにつながり、来年は一五〇世帯に広げる予定です。昨年未からは、第三の拠点として松が丘の空家活用で運営を検討中だが、担い手の確保が課題とのお話もありました。
- 次に、港南台や新川崎でのタウンカフェの運営者の齋藤さんからは「コミュニティカフェ運営に関するノウハウの可視化と共有」というテーマで、やりたいこと・できること・必要とされていることの整理により、足りない部分を外に呼びかけることが繋がるきっかけになる。そして仲間と組織づくりにはプロセスそのもの、そして、現場の参加者の思いを形にしてゆくことが大事で、協働には人と人としての関係が不可欠等、示唆に富んだ話が聞けました。
- 後半のディスカッションでも、其々、早川流の、齋藤流、ミエルの活動があり、一方で、共通の何かもあると思え、それらを見える化することが課題なのではないかと気づきました。

●「つながるミニフォーラム」2022

大倉山ミエルは神奈川県と協働事業で「海の牧場」のために「活動団体がつながる」2022年度「コミュニティ活性化」を行っています。

この事業はボランティア基金21事業では
 ① 大倉山ミエルや大倉山地区での協働事業
 推進と連携し、その成果を広く、可視化
 ② それらに基づいた課題の抽出
 ③ コミュニティ活性化のめど人材育成の
 ための人材育成・交流の場づくり
 を行っています。その中継者としてミニ
 フォーラムを開催します。

1/17 (日)
 18:00～19:30+交流会
 @zoom

① ミエルを自立的に支える企画部の「楽しい活動+少しのボランティア」
 ② ミエルの3回の移転はなぜ？「協働のおとしげ」

【「さろんどて」の活動紹介】
 早川 仁美 茅ヶ崎駅前「さいとうさんち」の事務局長
 大倉山ミエルの小倉診療所と「遠くまで行く」の見える化
 鈴木 智香子 大倉山ミエルの活動紹介と「さろんどて」の活動紹介

この事業は神奈川ボランティア基金21の協働事業により行っています。

■フォーラム 2022
 主催：大倉山ミエル
 開催日：2022年1月17日 火曜日
 時間：18:00～19:30+交流会
 定員：20名

場 所：オンライン (Zoom) で行います。
 参加費：1,000円
 申込先：大倉山ミエル事務局 大倉山ミエル事務局
 申込先：大倉山ミエル事務局 大倉山ミエル事務局
 Mail: miel@rfs-net.jp

③ 「つながるミニフォーラム」2022

つながるミニフォーラム 1.5時間、ZOOM

■日時：2023年 1月17日（火）18:00～19:30

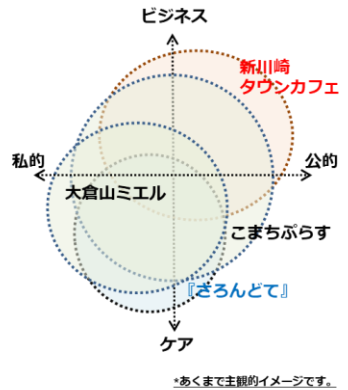
■場所：ZOOM

■対話内容：「協働によるコミュニティの活性化」

■タイムテーブル（案）

| | |
|-----------------------------------|-----|
| ① 主旨と時間割の説明 | 5分 |
| ② 各人の挨拶・近況報告 | 5分 |
| ③ 早川さんからの近況報告 | 5分 |
| ④ ディスカッション (杉崎先生、早川さん、鈴木智、鈴木健) | |
| ① ミエル企画部の 「楽しい活動＋少しのボランティア」 | 30分 |
| ② 「ミエルの3回の移転」から学べること | 30分 |
| ⑤ まとめ | 15分 |
| 合計： | 90分 |

■活動の広がり・性格



- ミエル企画部のメンバーで、ミエル企画部のこれまでとこれからを、意外にまじめに話し合ってもらいました。
- 新旧の見える企画部のプロボノメンバーの座談会を開催。20230211

■つながるミニフォーラム議事録

【開催日時】2023/01/17(火) 18:00～19:30

【参加者】杉崎先生、早川さん、谷さん、棒田さん、美美子さん、伊藤ちあきさん、荒木典子さん、辻さん、西川あやなさん、松本まゆみさん、上田梨央

④ ディスカッション 2022

1) ミエル企画部の「楽しい活動＋少しのボランティア」

早川) 新しいことが生まれ、短期間で実現させていくことは怖くてできない。スタッフメンバーは保育士がほとんど。保育の管理をしている中で、現場の安全の確保を第一に考える。保育園ではないので、多数の親子が集まる中で、親子がのびのびと過ごせるにはどうしたら良いか熟考した結果つまらなくなる状況に陥っている？ミエルの話を聞いて、両方解決していけるのではないか？「ゆるい繋がり」を真剣に考える状況に陥っている。

鈴木智) リスクを考えると、いいのか？と考える時もあるが、今のところ怪我などなく過ごせている。この場を長く維持していく為にもっと考えなければならないと思う時もある。

鈴木健) 思っているよりもっと少ない人数でやっている。ある限られた人数がいろんなことをやっている状態。居場所も小さく、人数も限られているので、広報ではなく口コミで広がっている。活動をやる前の北海道で子どもを遊ばせる「冒険遊び場」から入っている。少しくらいの怪我はしてほしいと思っている。早川さんからしたら危険！基本的なスタンスは、いい加減。そういうことを求めてやっている。

鈴木智) 子連れのお母さん達が納得して来ているか。できる範囲で保険を掛け、できるだけリスクを回避できれば良いな。お互いの納得という部分をもう少しオープンにしていく必要があると思う。

杉崎) いろいろ触発された。3回移転し、4回場所の立ち上げをしているのがポイントだと常に思っている。場所が変わると、場所や建物の設え、人も変わる。経験的に蓄積されるけど、いい意味でリセットできることもある。それが何かを知りたい。場作りに関して、冒険遊び場の経験もある。それが背景にあることを初めて知った。早川さんの話に重ねると、場所を運営するのはみんな丁寧で語彙形成をするのが理想だけど、実際はリーダーが強い意志を持って、あるいはこの指とまれのようなことが必要で、中心の人(達)がいて、その人の想いがあって、強く表現していくところに一緒に乗っかっていく人がいる。企画部の存在が強い。どこで手放そうかと思ったか。最初のメンバーで「これが大事」と思ったものがあって、見えないものを共有していて、後から来た人は、相性で残ったり離れたりと。今までの経験で培ったものなのか、最初からなのか。いきいきと活動してもらえる場を作ることが大事だが、一方で最後は責任を取るというおっしゃり方もしている。できた経緯もあるから、目指したいところも言っているけど、そこは柔軟に変わるかもしれないし、出てきたアイデアはほとんどやっつてね！という盛り上げ方もするところが面白い。

子ども食堂→みんなの食堂へと活動が広がっている。活動の場が開いていて、そこに新しい人が来てワイワイおしゃべりができて、おしゃべりができるからそこでアイデアが出てどんどん展開していく。アイデアを出すような話をする機会がLINEも含めて、ちょっとずつ結果的に広がっている。一方で人数が多くなりすぎて、ミエルを考える会を立ち上げたのもキーポイント。どれくらいの規模感が良いのかなどを発見をし、調整すべく立ち上げた会が、ずっとミエルが大事にしてきたものを共有する機会になったのではないかと。戦略的ではなく、現場での意見が結果的にこうなった。興味を持ったポイントを後付けで整理していくと面白そう！棒田さんの存在が大きい！外に出ていき、活動が展開していくと、その場を複数でコーディネートできる人が出てきたのは大事。

今回話がなかったこと1点言うと、他の組織や他の主体とどのタイミングでどの事業で〜の話がくっつくと、自前でできない話ができて、その話も聞きたい。

鈴木智) 手放すで言うと、コロナがきっかけでコロナがなかったら今の形にはなっていない。コロナで手放したものは多く、何よりカフェを手放したことは大きかった。

杉崎) チャットにもあったが、鈴木家の変化もあった。ポジティブな諦めもある。

2) 「ミエルの3回の移転」から学べること

杉崎) 印象に残った言葉は「転勤族だった」というキーワードに興味を持った。いい意味でいろんなことをリセットしてどうにかなるという人生経験がこの辺にあるのではと思う。一緒に組む人との関係性の中で条件が変わって、若干受け身でそこできてることを一生懸命やり、やりたいことが明確になっていくなから、経済的なことも含めて主体的に活動するようになってきたのかなと思った。蓄積したものは大事にしたくなるが、転勤族だったのが繋がってるような気がする。(影響が大きかったのではないかと)

実績を積み、地域の中で信頼関係の築きは、蓄積されていったのではないかと。いろんなグループと連携したり離れたりしていることは大事なことで。ボランティア・想いでやってる活動なので、お互い気持ちよく活動できる環境作りが大事だけど、円満な離婚をあえてやって乗り越えて身動きが取りやすい体制でやっていることは、市民活動としてはとても大事なことで。場所が変わるタイミングなどでうまく機会にしながら関係性を精算したり、新しい人と組んだりするのは、単純に引越すだけではなく運営も含めて今の体制になっているのではないかと感じた。

早川) 私も転勤族だがリセットするのは怖い。リセット、自分一人で組み直すのは良いが、仲間と一緒にやっていく中では覚悟が必要。それがなぜできるのだろうと不思議に思う。

いくつか気になったのが、財源をどうしているのか。自分たちのお金を持ち出しているから、自分たちで決断し、自分たちで辞めることができるのではないかと思いました。みんなの寄付や助成金などでやっているの、辞めることは無責任に感じてできない。

短い期間に決断して実行することが、なぜできるのか。予算・見通しをたて、戦略を練り、「さろんどて」は小さいことから始め、成功したら次に進んでいく。「さいとうさん家」は辞めないで展開してきたから、やり方が違うと感じた。地域柄が違うこと、オーナーに恵まれた。(家賃など) お金の裏付けがないと勝負できないところがあり、慎重になっていく。今はウェルカムベビープロジェクトを通して、アウトレーシングを広げていく手段を取っている。やりたいことが広がれば、安定財源を求めなければならないことは話し合っていてまだ実現していない。市民事業ができるサービスBがあるなど、チャレンジしやすい横浜は羨ましい。

棒田) 高校生にベンチャー企業の話をしに行っていた。ベンチャー企業・中小企業は、5年後に残るのは15%。地域活動は、辞めたら辞めてもいいと思っているが。皆は辞めちゃいけないと思っている。ねばならないに縛られている。企画部の良いところは、自分たちが楽しくないことはやらないこと。何かのためにやるよりは、自分たちも楽しめることだからやる、それが一番エールギーになる。子育て世代なので、次のステージで卒業していきたい人は卒業していけばいい。卒業しても何人かは残りたい人がいて、その人たちがお節介はあになつていけばいい。来る者拒まず去る者追わず。ミエルで出会って育て、その人がまた違うところで何か活動が始まったら素直に応援していく。一歩間違えたらなぜか市民活動は妬みになる。ミエルは、お金をものすごくかけることをやってる訳ではないので、ダメなら引けばいい、自分たちが大変だったら、手間だったら辞めれば良いという土俵があるのは大きい。

家賃の部分で、活動をしようと思うと場所を探すところから始めなければならない。自由に使えるのは大きい。探すとなると、場所によってはケアプラザなど。安くネットで借りれるところを予約し集まるようになる。

お母さんたちだとすると、これだけ時代の流れが早いので、企業のように年間計画を立てていると、やりたいことができない。あまり予算をかけずにやってみるのが企画部の大きな特徴で、それが今のニーズに合っていると思う。地域事業はなせ続けねばならぬになるのか。

杉崎) 経営は鈴木家がやっていて、その地域の人に活動しやすい安全な部分を用意しているから、皆、条件が少し減った中でアイデアが形にできている。早川さんのところは、場所の維持や経営も含めて皆でやっていて、そこの違いが極端に出ているのではないか。これが重なって、スピノフする活動が出てくると面白い。

早川) 小さいころからやって楽しいことしか残していなく、辞めていないだけ。4

鈴木健) 早川さんのところは、本当に大変な人を助ける事業を多くやっていて、やり続けなきゃいけない。ミエルの活動は、自分たち(お母さん達)の活動で、性格が違うと思う。

早川) かんさんちを使って、お母さんたちがゆるいことをやってくれたらいいと思っているが、自信がないからさろんどでの自主事業をお願いします! となる。結果自分たちの事業が広がっていく。

りお) アンケートを再度実施して、今のニーズを知りたい!

アヤナ) ミエルの今のALLの内訳は気になっている。リアルに活動している世代が、今何を必要としているのか掴めていない。アンケートはすごく大変だったが、皆さんの声を洗い出せたのでまたやりたいと思う。復帰会・入学前のおしゃべり会の企画は毎年好評だが、今回はまだ参加が少ない。前年と反応が全然違う。世代はずれてないと思うが、皆で集まってお喋りするのを前ほど求めない? というのが疑問点。コロナを経験したからなのか、この現状に慣れてしまっただけで、再び繋がることのハードルが上がっている。今のママさん達は単独でミエルに訪れることはあっても、繋がることを求めている? などが最近のモヤモヤ。

辻) 出会う場がなくなったので、横の繋がりがなくいきなり会うような形。オンラインだと見せなくて済むことがたくさんあるので、会うことのハードルが高くなるのではないか。

鈴木健) ミエルにいない時間が増えたのも、何か影響しているのではないか。餅つき・アートジャムは、以前より人は来ているが、日常的な活動となるとあまり集まらない。人数が増えて顔と名前が一致しない。以前のようなコミュニケーションを保てるコミュニティじゃなくなるのかもしれない。

杉崎) 気になったのが、コロナの前後の話は議論になりそう。西川さんの問題定義があるまでは、コロナをきっかけにその場所が大事なと思った人たちが結束して、一度活動を整理する良い機会になったと思う。一方で新しい人との関わり合いがなくなっている? 活動に参加する人は継続的に関わるけど、新しい人と会うのは難しいから閉じてしまう。結束は固くなるけど、新しい人は増えないということがありそう。意識的にやっていくのが良さそう。

鈴木智) 場所の広さの限界もある。今思っているのは、地域にあるコミュニティハウスでまだ使える場所や人や団体があるのでは。広がりの中で、次を見ていくのは大事なと思う。親密な活動の限界というのはあると思うので意識していきたい。

⑤ 杉崎先生（フォーラムモデレーター）のコメント

大倉山ミエルの活動への関心

杉崎和久（法政大学）

1. 3回の移転、4回の場づくりこそがミエルの財産

本事業は、大倉山ミエルでの活動経験を他の居場所づくりへの技術移転をすることが目的である。私自身は、これまでもミエルを数回訪ねたこともあるが、今回の事業を通じて、ミエルの活動について再認識する機会となった。中でも大倉山で3回の移転を経て、4回の居場所づくりを行ったことがミエルの特徴であり、そこでの居場所づくりの経験こそが技術移転のポイントだと思っている。居場所を運営するには、周辺との関係構築、活動の担い手のチームづくりなどのプロセスが重要になるが、移転する度にその立地や建物の機能などは異なり、上記のプロセスを新たに経る必要がある。ミエルは、居場所づくりにとって基本的なプロセスを4パターン経験したことは、ミエル独自の財産である。

そして、居場所づくりは、負担のかかるプロセスであり、それを経てできた居場所に対する思いが強くなるのが当然である。そういった中でミエルは、活動を進化させるために積極的な移転を3度も決断できた背景も気になっていた。これに対して、ミニフォーラムの中では鈴木夫妻が転勤族であったこと、その中でコミュニティに関わる経験をしてきたこと、そして自ら「継続へのこだわりが少ない」と語られていたことが印象的であった。

2. 「ミエル企画部」を生み出すリーダーシップ

さて、ミエルの特徴のひとつに「ミエル企画部」がある。地域の居場所としては、多様であり、かつ多くの活動を生み出していること自体もミエルの特徴であるが、それを生み出す企画部の存在が興味深い。次の関心は、企画部のような場を生み出したことに対して、ミエルの経営に関わる鈴木夫妻がミエルがどのような居場所になることを想定しているのかという点である。

これまで私がいくつかの居場所運営に関わる活動のお話を何う中で感じていたことに、メンバー間でのミッションの共有、事業の検討・実施について、丁寧に対話を行っているグループであっても、その中には中心となる人がいて、その人の強いリーダーシップが発揮されていることが多いことである。ただし、ここでのリーダーシップとは、独断専行という意味ではなく、関わる人たちの思いを実現させることも含めた強い意志と言える。そのリーダーシップにより、参加する人たちはその場での活動に安心し、信頼することができる。と、同時に中心となる人は、その場所に想定されるリスクを受け止める覚悟を持ち、他の誰よりもその場への愛着を持ち、ぶれない信念を持っている。

それに対して、ミエルの経営をする鈴木夫妻のリーダーシップは私がこれまで出会ってきた居場所運営のリーダーとは少し異なる。と思うのは、ミエルが得意とするテーマ、あるいは軸とする活動が見えにくいことである。私は、このことが結果的に新しい活動を生み出し易くしているのではないかと思っている。

では、なぜ、鈴木夫妻は、参加する人たちにミエルをゆだねることあるいは手放すことができるのかという点に興味がある。今回のミニフォーラムの中で以前冒険遊び場活動をされており、場づくりの経験があったこと、またその先に自治の場を描いていることが語られたことを通じて、当初から地域における場づくりを志向していたことがわかった。

とはいえ、「最後は私たち（鈴木夫妻）が責任をとる」という語りもあり、責任を手放したわけではない。つまり、インキュベーターとしての居場所の運営をされていることが示された。結果、鈴木夫妻による居場所の維持などの経営を担うことで、ミエルでの活動に関わる参加者の心的ハードルが低くなっており、それにより創造的空間を担保しているのではないかと。

3. 活動を創造するおしゃべりの機会

鈴木夫妻が地域の人たちが主体となった活動を促す志向をもって居場所の経営を行っていても、それを実現させることも容易ではない。ミニフォーラムでの鈴木さんからの報告やミエルの活動参加者から出された意見から興味を持ったのは「おしゃべりの場」の存在である。例えば、こども食堂からみんな食堂、そめん流し、フードパントリーなど活動が展開するイベントの中で、それぞれの実業の中で参加者層が拡がり、そこでの「おしゃべり」を通じて、新しい活動が生まれてきた、という話。また、LINEグループを使ったコミュニケーションを通じた活動の拡がり。と

、あっさりと書いてしまったが、イベントをやって、さらにLINEをつかえば、活動のアイデアが創造されるわけではない。これもミニフォーラムの中で参加者からコメントにあったように創造的な対話を生み出す心地よい「よい加減な雰囲気」が作られていたことが想像できる。この延長線上に「企画部」の存在があるのではないか。

4. コロナ禍への対応

最後にコロナ禍は、各地の居場所運営に大きな影響を与えた。人々が集まるための装置であった居場所は、密を避ける社会の中でその居場所の価値を再考する機会となり、ただ集まるだけでなく、居場所の価値として必要とされる活動に絞らざるを得なくなった。ミエルに関していえば、「カフェをやめる」ことがひとつの例である。コミュニティカフェは、カフェではあるが、いわゆる喫茶機能が必要なのかという問いへの気づきはコロナ禍がなければなかったかと思う。これだけでなく、ミエルの価値と必要な活動を問い直す機会になったと思われる。

また、ミニフォーラムでは、ミエルの活動に関わる人たちの変化についても、語られた。コロナ禍において、人々の移動が制約され、それによって居住地近くで過ごす時間が増えた人が多くなった。さらにオンライン環境も整備されたことも後押しして、新たな活動参加者が登場し、そのことがミエルがさらに活動を創造するようになったと思われる。

ということで、本事業でミエルの活動を見聞きすることで私がミエルの活動の中で興味を持ったことを羅列した。必ずしも実証的ではなく仮説の域を出ないが、今後機会があれば実証していきたいと思っている。

3. 事業2 : 県域への展開

1 県域への展開

1 概要

- 1 支援地域の検討： 茅ヶ崎、新川崎、三浦の検討
- 2 茅ヶ崎「さろんどて」の支援決定： 松が丘の居場所活動開始へ
- 3 大磯・座間・綾瀬等での支援

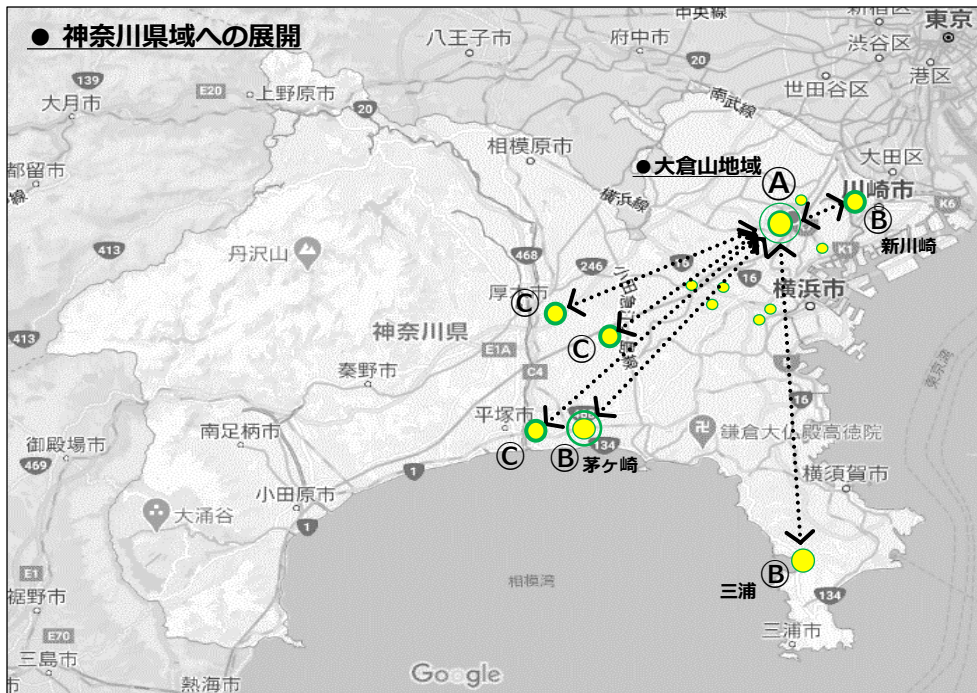
● A モデル地域と B 適用地域

- A 大倉山地域
モデル地域 (大倉山・菊名・師岡・大倉根) ミエルのこれまでのネットワークを生かし、さらに活性化し、事業やつながりの見える化に取り組む。
- B 主な候補地域 (茅ヶ崎、新川崎、三浦市)
主にサポート事業を行う適用地域の候補、今年度から茅ヶ崎の「さろんどて」等を支援地域として選定した。
- C サブ候補地域 (大磯、座間、綾瀬)
サブ的にサポート事業を行う適用地域の候補、活動のマップづくり (横プランナーズネットワーク) や生活クラブ、フォーラム・アソシエ等のネットワークを生かす。

● 過去の活動実績の例 (大倉山地域以外)

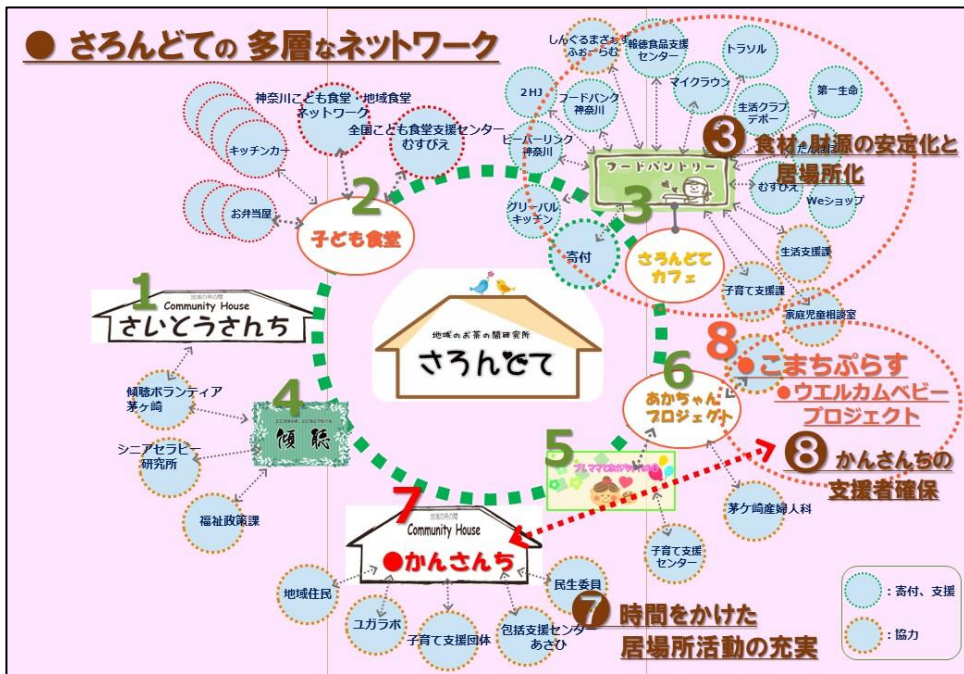
- 1 二俣川駅 (旭区)
2019年、相鉄線、二俣川駅周辺町内会活性化を担当した(大倉山ミエルの事業)
- 2 反町
都心地区の空店舗活用事例でもある障害者の支援施設でもあるコミュニティカフェ「反町ボラン」開設の支援活動を担当した。(横浜プランナーズネットワーク、以下横プラ)
- 3 南永田団地
団地再生事業の一環で団地の空店舗を利用したコミュニティカフェ「サロンほっとサイ」開設の支援事業を担当した。引き続き団地再生業務を継続予定。(横浜プラ)
- 4 綱島
横浜市の緑アップ事業の支援で、計画案の作成等企画から支援を行った。(横浜プラ)
- 5 南区 (NPO法人NORA・学校地域コーディネーター)
NPO法人NORAの居場所づくり事業の支援を行った。(大倉山ミエルの事業) 今年度は南区の学校地域コーディネーターの研修事業を引き続き担当している。(横浜プラ)
- 6 230カフェ ヨコハマ市民まち普請事業のサポート採択
鶴見駅前地区で外国につながる子どもの支援を含む、コミュニティカフェの開設支援(横浜まちづくりコーディネーター)

● 神奈川県域への展開



②-2 茅ヶ崎『さろんどて』への展開 2021+2022

「ウェルカムベビープロジェクト支援、「さろんどて」ネットワーク図作成



● ウェルカムベビープロジェクト

:こまちぶらすとの協働

ウェルカムベビープロジェクト

キックオフイベント

10/31 (月) 10:00~11:00

会場：茅ヶ崎市勤労市民会館A研修室

予約不要・入場無料

*トナーションを数機としてあります。しただいた寄付は、あかちゃんとは別なための活動としていただきます。

プログラム

- 10:00 開場挨拶
- 10:00~10:20 アイリッシュコープ発表
- 10:20~10:25 代表挨拶
- 10:25~10:40 協賛社様への紹介
- 10:40~10:50 協賛社様の紹介
- 10:50~ 協力団体の紹介

オープニングコンサート

アイリッシュハーブ演奏

協賛社様プロフェッショナル演奏団体の協賛でおいしいハーブより美味しい音楽を演奏して、盛り上げたい。皆さん共に参加してください。その後のコンサートは、地域活動のストーリーアートとしても披露。協賛は、地域活動のストーリーアートとしても披露。協賛は、地域活動のストーリーアートとしても披露。

2018年度課題から引き続き「さろんどて」のキックオフイベントとして、茅ヶ崎市勤労市民会館A研修室で開催いたします。茅ヶ崎市勤労市民会館A研修室で開催いたします。茅ヶ崎市勤労市民会館A研修室で開催いたします。

2021年11月20日開催予定。茅ヶ崎市勤労市民会館A研修室で開催いたします。茅ヶ崎市勤労市民会館A研修室で開催いたします。茅ヶ崎市勤労市民会館A研修室で開催いたします。

5 あかちゃんプロジェクト

6 こまちぶらす

7

8

● 寄付、支援
● 協力

②-3 茅ヶ崎『さろんどて』への展開 2021+2022 : 「さろんどて」パンフ作成

【ご寄付のお願い】
地域の子どもたちやひとり親家庭などへのご支援をお願いします。いただいたご寄付はフードバンクや子ども食堂などの運営費として大切にさせていただきます。

* 口座 ゆうちょ銀行 店名 ○八チイキノオチャノマケンキョウジ サロンドテ 普通 2611214

ご寄付

・ホームページからでもクレジットカードでもご寄付いただけます。
・食品などのご寄付も受け付けております。

【ボランティアのお願い】
一緒に活動してくださる方を募集しています。スタッフは全員ボランティアです。ぜひ私たちの活動に力を貸していただけませんか。

ボランティア募集

さいとうさんち
プレママとあかちゃんの日
カフェの会場

住所: 茅ヶ崎市新栄町8-15

子ども食堂・フードパントリーの会場
日本ホーリス教団・茅ヶ崎教会
住所: 茅ヶ崎市本村1-2-14

茅ヶ崎駅

地域のお茶の憩い研究所
さろんどて

さろんどては・・・
食を中心としたさまざまな居場所づくりや、困窮者支援をしています。「地域に孤立しづらい」をモットーに、ともに地域に暮らす生活者として一緒に考え活動します。
また、傾聴の学びを通して自分を知り、支援する側、される側ではなく、誰もが幸せに暮らせる地域をめざしています。

ホームページ
salondote.org

さろんどて公式 LINE

【発行責任】：地域のお茶の憩い研究所 さろんどて
【後援】：まちづくりエント・茅ヶ崎 (参加団体)
湘南生活クラブ生協茅ヶ崎コンズ・ちがきステレオ・NPO法人W.Co.中心・NPO法人W.Co.のひびびNPO法人W.Co.がらねと・NPO法人ウーコレたんぼぼろばNPO法人W.Co.ほっぺ・NPO法人WE21チャリン・ちがき

【お問い合わせ】
電話 080-5536-8096 (事務局 早川)
メール salotsanchi82@yahoo.co.jp

● 毎週水曜日 11:00-12:00, 12:30-13:30
対象: どなたでも 参加費: 300円
貴席様のご自宅の一部を地域に開放していただいています。ぶらっと来てぶらっと帰るそんな自由な居場所です。ランチとお茶をご用意しています。どなたでもどうぞいらしてください!

● 毎月最終日曜日 11:00-14:00
対象: シンプルママとお子さん。要予約、無料
場所: さいとうさんち
ひとり親家庭のためのカフェ。お食事、リラックスした時間をお過ごしください。

● 毎月1回開催 11:00-12:30
対象: プレママさんと0歳児の赤ちゃん＆ママ
参加費: 500円 要予約 場所: さいとうさんちふれあい遊びや紙芝居、ママ同士でおしゃべり、手作りランチも楽しめます。スタッフは保育士や助産師です
*SNS、チラシ等でお知らせしています。

さいとうさんち
プレママとあかちゃんの日
カフェの会場

住所: 茅ヶ崎市新栄町8-15

子ども食堂・フードパントリーの会場
日本ホーリス教団・茅ヶ崎教会
住所: 茅ヶ崎市本村1-2-14

茅ヶ崎駅

地域のお茶の憩い研究所
さろんどて

フードパントリー

子ども食堂

● ほんもん子ども食堂「いただきます」は・・・
毎月第1水曜日 17:00-19:00
対象: お子さんとその家族 要予約
場所: 日本ホーリス教団茅ヶ崎教会駐車場
詳細はさろんどてLINE登録された方にお知らせしています。

● 傾聴 **傾聴講座を開催**
「傾聴」は車におはなしを聞くことは違い、相手の心に寄り添うもの。「傾聴」の学びから自分を知り、日常生活や職場、ボランティア活動に活かしませんか?
詳細はホームページなどでお知らせしています。

ウエルカムベビープロジェクト

● まち全体で、赤ちゃんの誕生をお祝いし、子育てを応援できる社会になることを目指すプロジェクト。地域で企業から【出産お祝い】を送ります。
プレママとあかちゃんの日
ウエルカムベビープロジェクト
茅ヶ崎
Instagram
PREMAMA_BABYCH

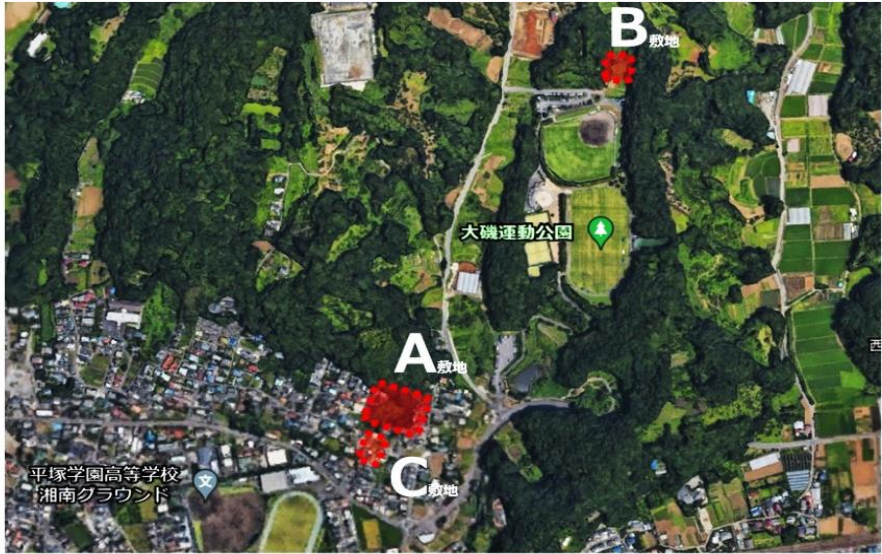
● 地域のみさんと一緒につくる居場所です。
● あかちゃんの日
毎月第1水曜日 11:00-12:30
対象: 0歳児のあかちゃん＆ママ
参加費: 500円 要予約
● 子ども食堂
毎月第3金曜日 17:00-19:00
対象: お子さんとその家族 要予約
● その他、様々な活動を行っています
イベントスケジュールはホームページでご確認ください。
● レンタルスペースも行っています。
ぜひかみさんちをご活用ください。

③ 大磯国府本郷への展開 2021+2022

1 敷地での現在の活動や、敷地の豊かなポテンシャルを活かした色々の活動を進めながら、人材を有効に活用できる活動を選択しながら事業的選択を平行して進める提案をおこなう。

1 計画地

大磯町国府本郷計画



2021.12

この事業は特別市庁ラングリー第21の仮設事業により行っています。

2 計画地

大磯町国府本郷計画

マリア道

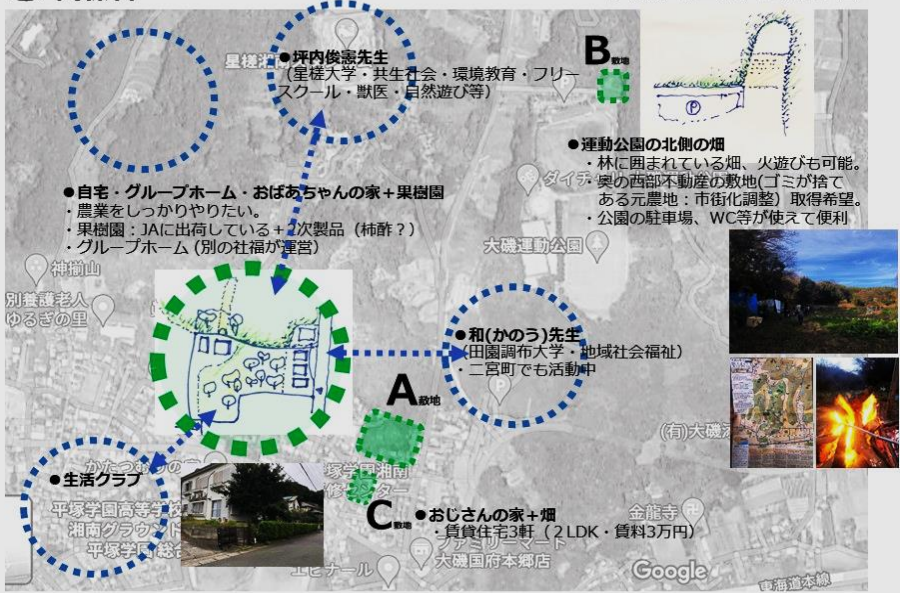


2021.12

この事業は特別市庁ラングリー第21の仮設事業により行っています。

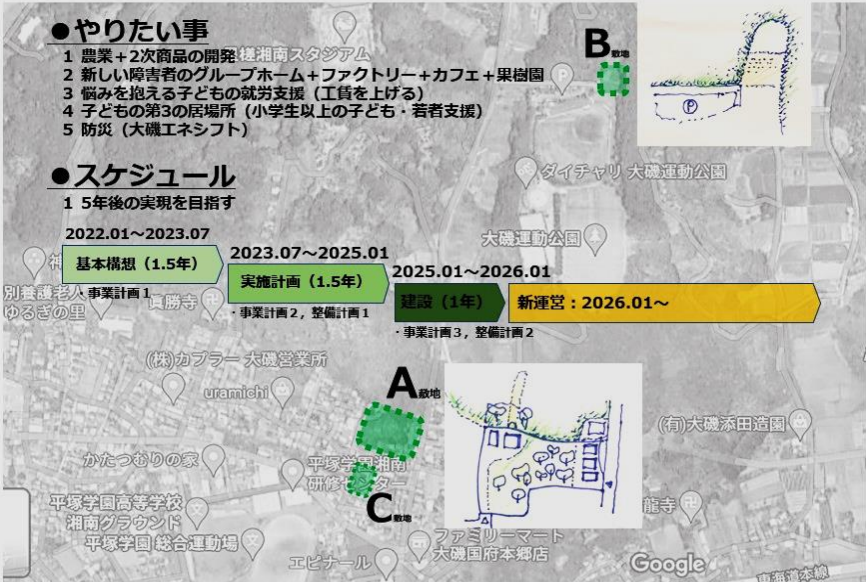
3 関係者

大磯町国府本郷計画



4 やりたい事・スケジュール

大磯町国府本郷計画



7 現地状況

●B敷地

大磯町国府本郷計画



計画：エコファーム計画

計画：作業所(エコハウス計画)

●A敷地周辺



計画：作業所(屋根のみ)

2023.02.07

8 事業計画

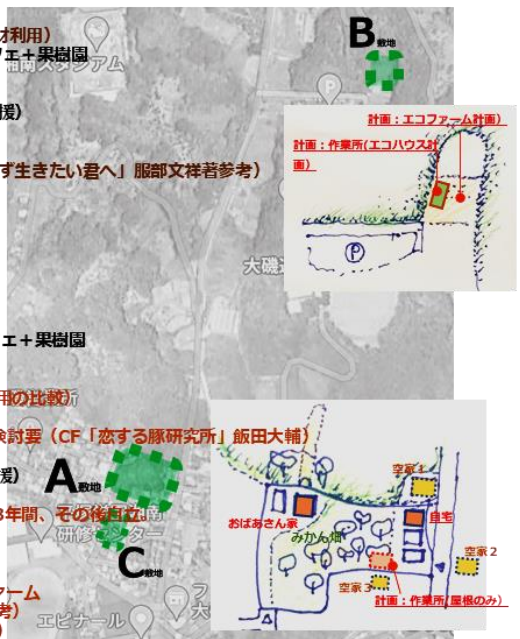
大磯町国府本郷計画

●やりたい事

- 1 農業+2次商品の開発 → 作業スペース建設計画 (古材利用)
- 2 新しい障害者のグループホーム+ファクトリー+カフェ+果樹園
→ 事業計画+補助金等検討
- 3 悩みを抱える子どもの就労支援 (工賃を上げる)
- 4 子どもの第3の居場所 (小学生以上の子ども・若者支援)
→ 日本財団「子ども第3の居場所」検討
- 5 防災 (大磯エネシフト)
→ エコハウス・エコファームの検討 (「お金に頼らず生きていたい君へ」服部文祥著参考)

●事業計画 2023 01

- 1 農業+2次商品の開発
→ 作業スペース建設計画 (古材利用)
■ シャム等2次製品の生産方法、体制等の検討
■ 農業体験+キャンプ・宿泊
- 2 新しい障害者のグループホーム+ファクトリー+カフェ+果樹園
- 3 悩みを抱える子どもの就労支援 (工賃を上げる)
→ 事業計画+補助金等検討
■ 障がい者グループホームの事業計画 (新築と空家活用の比較)
■ 障がい者作業所の事業計画 (20年後も考慮したい)
→ 果樹園+畑での農作業での工賃の確保が可能か検討要 (CF「恋する豚研究所」飯田大輔)
- 4 子どもの第3の居場所 (小学生以上の子ども・若者支援)
→ 日本財団「子ども第3の居場所」検討
■ 条件確認：3日/週×15名、90m以上：年60万、3年間、その他自立
→ 難しい？：3日/週×15名が難しい。
- 5 防災 (大磯エネシフト)
→ エコハウス・エコファームの検討・協働体験ファーム
(「お金に頼らず生きていたい君へ」服部文祥著参考)
(縄文文化の体験・エコツーリズムルート体験)



計画：エコファーム計画

計画：作業所(エコハウス計画)

計画：作業所(屋根のみ)

2023.02.07

9 計画地・周辺状況

マリア道

大磯町国府本郷計画



2023.02.07

② その他の地域への展開

- 1 座間市生活クラブの居場所や綾瀬市の居場所支援等を進めている。
- 2 横浜市南区の登黨の存続支援
- 3 横浜市旭区の地域の魅力づくりに繋がるパートナーシップ推進に関する調査・企画業務委託
- 4 宮城県の震災復興の自治会自立支援2022

③ 県域展開での考察と気づき

- 1 中間支援的ではなく活動の連携へ
 - ・支援ではなくつながり続けること。支援ではなく学び合うことが大切。
 - ・楽しく、無理の少ない活動を基本に考える。
 - ・地域の特徴や制度の理解が重要である。
- 2 参加（協働）し易いコミュニティとは
 - ・参加し易く、休み易いコミュニティ。課題解決型ではなく、つながり重視型
 - ・既存の活動を大切に、そして気長に。とりあえず一緒にやってみる。
 - ・無理せず、我慢しない。ゆるくつながる。永くつながる。境界をなくす。
- 3 宮城震災復興支援での学び：ある町内会長の言葉
 - 1 やる事だけやる。2 押しつけない。3 やったらほめる ほめる ほめる。4 やらない人を責めない。5 とにかく楽しくやる。6 なんでも話せる空気を作る。最後には根気よく。
- 4 自治会の活性化に向けて、①中間支援的活動団体と自治会と地区社協とケアプラザ等との協働 ②自治会・商店会・地区社協・ケアプラザ・学校・様々な支援拠点・ボランティア団体・NPO・企業・行政等が、少しづつ連携した活動を始めることしかない。

4. 事業3 : コミュニティ活性化のための人材育成・OJTの研修・つながりづくり

① 普及のためのプレ研修 2021+2022

- ① 目的・ずっと、ゆるくつながる (line グループを作る)
・実践で考える (活動体験と課題の共有)
・参加者の発表。気づき(目標・ヒント)一步を踏みだす。

つながる研修 プレ研修

第2土曜日

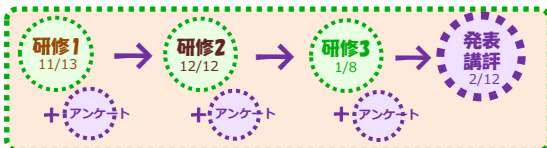
13:00~15:30

大倉山ミエルは『孤の解消』のために「活動団体をつなぐことによる活性化事業」を行っています。つながる事そのものが目的であることを実感しながら、コミュニティに関心のある様々な人が、ミエルとつながって、各人が一步をふみ出すための研修です。

■ 研修のポイント

- ① ミエル等の実際の活動の課題を実感し、共に考える。
- ② 現地での活動体験も行います。(研修と別日予定。後日設定)
- ③ 参加者は各人の思いを形にして発表してもらいます。
- ④ ミエル スタッフもあなたの一步を共に考えます。
- ⑤ 将来も継続的なつながりを作ります。

■ スケジュール



※スケジュールは変更になることがありますがご了承ください。

■ 研修内容 (基本的にオンライン(Zoom)で考えています)

1 居場所 ミエルの居場所とミエル企画部 11/13 (土) 13:00~15:30

大倉山ミエルの ① 妊婦からシニアの居場所活動の現在と、② ミエルを自主的に支える21人の『ミエル企画部』の誕生と現在の活動、そして今の課題を共有してもらう事で、各参加者にとっての活動の目的や居場所の目的と運営組織の在り方を共に考えます。同時に参加者の方々の其々の思いについてもらいます。

2 子育て 榎田さんとミエル企画部 12/12 (日) 13:00~15:30

妊産婦支援を中心に『ここみて港北』『赤ちゃんカフェ』を主催し、ミエルを自主的に支える『ミエル企画部』の心の支えともなっている榎田あきこさん。そして、『子育てニッポン』等での全国での知見がミエルにも生かされているところを実感し、開かれたコミュニティの豊かさ、楽しさを実感します。同時に参加者の思いについても一度考えてもらいます。

3 環境 『熊スタ』と『大倉山はちみつ保存会』 1/8 (土) 13:00~15:30

『熊野の森もろおかスタイル』が目指す持続可能な暮らしを目指して広がる様々な活動や、ミエルと『羽羽幼稚園』との協働活動である横浜まち普請事業、「大倉山ハチミツ保存会」や「ミエル畑部」の協働活動の有り様、今後の取組についても話合います。そして、できれば参加者の方々に各人に思いを形にして話してもらいます。

4 思いを形に 『発表』と『話し合い』 2/12 (土) 13:00~15:30

前3回のWSやアンケート等を通して考えた事をふまえて、参加者各人にそれぞれの思いを形にして発表してもらいます。そして、みんなで意見交換をしたいと考えています。

つながる研修・プレ研修 202

開催日: 2021年10月~3月、第2土曜日
4回程度: 研修+話し合い
1回2時間半程度 (オンライン)
定員: 10名程度+オーディエンス参加
(各回500円、プレ研修は無料)

場 所: 基本オンライン (Zoom) で行います。
参加費: 3000円、全4回 (プレ研修なので無料)
申込先: 大倉山ミエルに電話又メール
☎: 045-717-6778
Mail: miel@rf6.so-net.ne.jp



■ちびっこミ



■フードライ

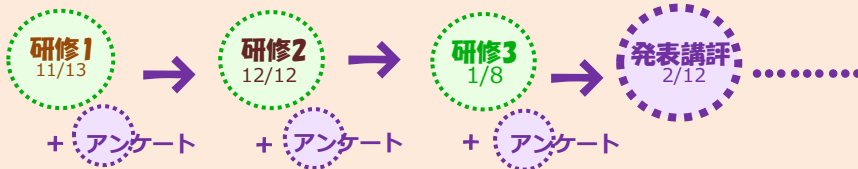


② 研修のポイント

- ・ミエル等の実際の活動の課題を実感し、共に考える。
- ・現地での活動体験も行う。(コロナ禍で今年度は未実施)
- ・将来も継続的なつながりを作ります。

③ プレ研修の概要とスケジュール

スケジュール



1 居場所 ミエルの居場所とミエル企画部

11/13(土)13:30~15:30

大倉山ミエルの①妊婦からシニアの居場所活動の現在と、②ミエルを自主的に支える21人の『ミエル企画部』の誕生と現在の活動、そして今の課題を共有してもらう事で、各参加者にとっての活動の目的や居場所の目的と運営・組織の在り方を共に考えます。同時に参加者の方々の其々の思いについて考えてもらいます。

2 子育て 棒田さんとミエル企画部

12/12(日)13:30~15:30

妊産婦支援を中心に『ここみて港北』『赤ちゃんカフェ』を主催し、ミエルを自主的に支える『ミエル企画部』の心の支えともなっている棒田あきこさん、そして、『孫育てニッポン』等での全国での知見がミエルにも生かされているところを実感し、開かれたコミュニティの豊かさ、楽しさを実感します。同時に参加者の思いについてもう一度考えてもらいます。

3 環境 『熊スタ』と『大倉山はちみつ保存会』

1/8(土)13:30~15:30

『熊野の森もろおかスタイル』が目指す持続可能な暮らしを目指して広がる様々な活動や、ミエルとの協働の活動である横浜まち普請事業、「大倉山ハチミツ保存会」や「ミエル畑部」の協働活動の有り様、今後の取組についても話合います。そして、できれば参加者の方々に各人に思いを形にし話してもらいます。

4 思いを形に『発表』と『話し合い』

2/12(土)13:30~15:30

前3回のWSやアンケート等を通して考えた事をふまえて、参加者各人にそれぞれの思いを形にして発してもらいます。そして、みんなで意見交換をしたいと考えています。

④ プレ研修での考察と気づき 2021

- ・活動経験者の歴史と思いを聞くことで、今の活動が腑に落ちた。じっくりその人の歴史を聞くことで深い理解がえられ、つながりも深まると実感した。
- ・人を知ることの大切さを実感。
- ・ミエルの様々な活動を知りたい。ミエルの歴史(3回の移転と4回の立上)も知りたい。
- ・肥後さんたちも、棒田さんも、基本、やりたいことを仕事にしてきた人達の強さ・豊かさを感じてまぶしかったです。人との出会いの大切さをつくづく感じた。
- ・ミエルが求めるコミュニティ：参加(協働)し易いコミュニティとは：参加し易く、休み易いコミュニティ。課題解決型ではなく、つながり重視型。既存の活動を大切に、そして気長に。とりあえず一緒にやってみる。無理せず、我慢しない。ゆるくつながる。永くつながる。境界をなくす。

⑤ プレ研修での考察と気づき 2022

- ・2022年度の研修でも、大倉山地域で活動している熊野に森もろおかスタイルさんや、棒田さんも含めた、OJTと、つながりを重視した研修を行ったが、研修以外の活動経験者の歴史と思いを聞くことで、今の活動が腑に落ちた。じっくりその人の歴史を聞くことで深い理解がえられ、つながりも深まると感じた。
- ・一方、OPEN DAYに来る方等、それぞれの関心事があり、それに答える研修の必効果や要件を感じて、OPEN DAYを研修の一部とする事にした。そこで、ミエルの様々な経験や、我々の他団体の様々な経験をや知見、ネットワークを活かした、つながり研修が可能となっている。
- ・運営面での考え方は、来年度も含めて検討していく。

② 今後の研修について

- ・2022年度の予定：4回ワンセットで、年3セットのつながる研修を行予定であったが、2セットにして、それ以外は月1回のOPEN DAYと一緒に、個別にミエルに見学等に来る方を対象に個別対応の研修に切り替えた。
- ・月1回のOPEN DAYでミエルの現地体験を組みこむ。
- ・今後の研修テーマ（検討テーマ）
 - ① ミエルの4回の立上と3回の移転、
 - ② ミエルを自立的に支えるミエル企画部・ミエルAL、
 - ③ 菊名みんなの広場での協働の失敗から学ぶ、
 - ④ 補助金と受益者負担の混合、
 - ⑤ ボランティアと給料の両立、
 - ⑥ ヨコハマ市民まち普請事業と大倉山ミエル

5. HP作成：ノウハウの開示に向けて

① HP作成の目的とポイント

① 目的

- ・ミエルとつながりたいと思ってもらえる HP
- ・ミエルの様な居場所を作ろうとする人たちの参考になるための HP
- ・実践で考えられる（活動体験と課題の共有等）

② HPのポイント

- ・ミエルの活動が『楽しい!』と感じてもらえる HP
- ・ミエルに入ってみよう! と思ってもらえる HP
- ・ミエルの活動が分かり易い HP
- ・ミエルの活動の実践がわかり易い活動ブログ（各々の担当者が記入。活動体験と課題の共有）
- ・常に活動が開いていて、近隣団体等とのつながりを考えられる：「ミエルの森」は他団体の紹介の兼ねる。
- ・多様で、自由さ、社会性が感じられる HP
- ・「なんでもOK!」と感じられる HP
- ・だれでも更新し易くデータ化も可能な HP
- ・ひとが見える HP（担当者紹介ページ）

新HP



旧HP



参考資料（書籍等）

- ・レイ・オルデンバーグ「サードプレイス」 みすず書房
- ・西村佳哲「自分の仕事をつくる」 晶文社/ちくま書房
- ・寛裕介「ソーシャルデザイン 実践ガイド」・「持続可能な地域のつくり方」 英治出版
- ・NPO法人ヨコハマプランナーズネットワーク ザ・まち普請編集委員会「ザ・街普請」
- ・NPO法人ヨコハマプランナーズネットワーク「地域に貢献する空家の利活用について」パンフレット
- ・齊藤保「コミュニティカフェ」 学芸出版社
- ・広井良典「人口減少社会のデザイン」 東洋経済新報社
- ・NPO法人さくら茶屋にししば「さくら茶屋にししば」 フェミックス
- ・認定NPO法人 こまちぶらす「居場所に対話の機会を！WAM助成co-machi対話プロジェクト実施報告書」
- ・認定NPO法人 こまつぶらす「居場所を通じた「自分らしい」市民参加を育む」
- ・NPO法人つながりデザインセンター・あすと長町「居場所づくりブックレット」
- ・山崎亮「まちの幸福論」 NHK出版。
- ・西智弘「社会的処方」 学芸出版社
- ・平田オリザ「わかりあえないことから」 講談社
- ・IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」「続・小規模多機能自治 地域経営を始める・進める・育てる88のアクション」
- ・まちづくりプラットフォーム研究会（卯月盛夫、杉崎和久他）「まちづくりプラットフォーム」 萌文者
- ・吉原直樹「コミュニティと都市の未来」 筑摩書房

つながる 大倉山ミエル なご が



大倉山ミエルの良さは？

4回の立上と3回の移転
でも13年続いている。

自然発生的なミエルALL・ミエル企画部
迂闊で、自立的な企画・運営。

大倉山ミエルの様な
小さな・自由な居場所づくり
を支援する。

つながるプレブックレット 2022年度

2023年3月31日 初版第一刷発行

著者：鈴木智香子 鈴木健夫

発行者：NPO法人街カフェ大倉山ミエル

発行所：NPO法人街カフェ大倉山ミエル

〒222-0037 神奈川県港北区大倉山

☎：045-717-6778

Mail：miel@rf6.so-net.ne.jp

